

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（21）（21）」

2. 日時：令和5年8月7日（月） 16時00分～19時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、内田統括技術研究調査官※

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他8名
（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した評価における今後の審査対応スケジュール

〈〈本年8月4日に受取済み〉〉

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	はい、規制庁地震津波審査部門のスズキですそれでは時間になりましたので玄海から川内の、
0:00:12	いわゆる長期評価の影響についてと、
0:00:16	ということでヒアリングを始めたいと思います。進め方としては県会の方の日本海南西部の会活動の長期評価PT034 ですかね。
0:00:27	こちら前回のヒアリングを踏まえての修正版ということではいただいておりますんでまずこちらの説明と確認をした上で、
0:00:34	仙台の方の日ハラダな南西諸島海溝の長期評価とか第2版ですね、これの、これも前回のヒアリングを踏まえての修正したものを説明いただいて確認すると。
0:00:45	そのあと2、少しお盆の期間も入りますので、現状の審査対応のスケジュールということでちょっと現状について確認をするっての一番最後にありますので、
0:00:58	よろしくお願ひします。まず九州電力から玄海のですね、長期評価の影響ということで説明をお願いします。
0:01:09	はい。九州電力の村上です。本日はよろしくお願ひします。
0:01:14	それでは資料番号PTG3に基づき、玄海元素
0:01:20	日本海南西部の
0:01:21	海域活断層の長期評価の影響について、前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明させていただきます。
0:01:31	2 ページをお願いします。
0:01:33	こちらの目次に沿ってご説明いたします
0:01:36	本件については、前回ヒアリングにてご議論いただきましたが、結論としては、活断層評価を見直す必要はないと。
0:01:43	判断しておりますので、地震動評価及び津波評価への影響確認については、参考との位置付けで資料を再構成してござい
0:01:53	3 ページをお願いします。
0:01:55	初めに、地震本部による長期評価の概要についてご説明いたします。
0:02:00	4 ページをお願いします。
0:02:02	こちらのページには、地震本部にて公表されております、整備区域の断層分布図を示しております。それについては大きな変更はございません。
0:02:12	5 ページをお願いします。
0:02:14	こちらには、地震本部が引用しておりますデータを掲載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	角田、各データの概要及び、既許可書。
0:02:23	数との関係性を追記し、資料の充実化を図ってございます。
0:02:28	一番上の産総研から、
0:02:31	石油天然ガス金属鉱物資源機構、いわゆる上部メックまでのデータは、結局評価時に考慮してございまして、
0:02:39	下二つのプロジェクトが既許可以降に公表されたものとなり、
0:02:44	このプロ、二つのプロジェクトのうち、日本海地震津波調査プロジェクトによる反射法地震探査が駅境界以降の新たなデータとなっており、
0:02:54	6 ページをお願いします。
0:02:57	こちらは地震本部の評価に用いられている測線図です。
0:03:01	今回は、先ほどの 5 ページの引用データと同じページに掲載していたものを、5 ページと分割して計算し、
0:03:09	ので、内容としての変更はございません。
0:03:12	7 ページをお願いします。
0:03:15	ここから今回の長期評価による玄海原子力発電所への影響についてご説明いたします
0:03:22	8 ページをお願いします
0:03:25	まず、影響確認の方針について
0:03:28	前回のヒアリングにおいても、既許可評価への影響確認の評価フローを記載しておりましたが、
0:03:35	活断層評価から地震動及び津波評価に至る考え方、
0:03:40	及び今回の評価がどのようなルートをとったかが明確になるよう、資料の充実化を図ってございます。
0:03:47	今回の影響確認結果の詳細については、後程ご説明いたしますが、
0:03:52	π 矢印で示している通り、
0:03:54	今回の地震本部による長期評価の公表を受けても、
0:03:58	弊社の活断層評価を見直す必要はないと判断しておりますので、地震動及び津波評価に至るものはございません。
0:04:08	9 ページをお願いします。
0:04:12	それでは、海域活断層の評価についてご説明いたします
0:04:16	10 ページをお願いします。
0:04:18	こちらにも既許可図における連携による、
0:04:21	周辺海域の断層分布図を示しておりますが、こちらについては、前回からの変更がございます
0:04:29	11 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:32	こちらは、地震本部と弊社の評価におきます。
0:04:36	おける断層分布図を示しておりますが、
0:04:39	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、各断層の断層面を全部中に追記してございます。
0:04:46	12 ページをお願いします。
0:04:50	こちらも前回、掲載しておりましたが、当社と地震本部の評価を表にて整理したものでございます。
0:04:58	これらの断層のうち、卸近海、
0:05:02	断層体及び第 1 ゴトウ田井断層体の二つの断層体を、
0:05:06	詳細の確認が必要な断層として、10 種
0:05:10	抽出しております。
0:05:12	その他の断層につきましては、詳細な評価が不要と判断しており、今回の資料では、不要と判断した考え方を追記してございます
0:05:21	詳細な評価が不要と判断した根拠としましては、まず断層長さが、
0:05:26	当社評価よりも短いと。
0:05:28	ところでございます。
0:05:30	また、断層の長さ以外でスクリーニングアウトした断層として、
0:05:34	上の四角囲みの中に記載している三つの断層がありますが、
0:05:39	まず白尾島沖断層大につきましては、敷地からの距離や層厚を踏まえ、
0:05:45	評価と同様に、敷地への影響は石山断層体で代表できると判断しております。
0:05:51	次に、対馬東水道断層体につきましては、
0:05:54	当社が担当していますイハラ東方沖断層群と、
0:05:58	ほぼ同じ走向であり、断層長さも同等であることから、駅強化評価への影響はないというふうに判断してござい。
0:06:07	最後に津島北方沖断層ですが、こちらは発電所敷地からの距離が十分に遠いことから、
0:06:13	許可評価と同様に、敷地への影響は小さいというふうに判断してござい
0:06:18	13 ページをお願いし
0:06:22	ここからは、詳細な確認が必要としましたオノシマ金海断層大及び第 1 号藤田井断層体の二つの断層体について、弊社の評価をご説明いたし
0:06:33	まず、オノシマ金海断層体について
0:06:37	こちらに示しておりますは、前回のヒアリングでもお示しておりました、オノ種

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:43	外断層と、
0:06:44	当社評価の断層分布図になり、
0:06:47	資料の変更点としましては、当該断層と発電所との位置関係がわかる、広域の図面を
0:06:53	左側に、
0:06:54	市、
0:06:55	右の断層分布図中に、
0:06:57	説明しております黒線黒破線が、何をしているかがわかるように、明確化を図っており、
0:07:03	地震本部及び当社の既許可評価では、ほぼ同一の断層に、
0:07:09	でも、双方の評価では、
0:07:11	うちは異なって、
0:07:13	いうふうになってござい
0:07:15	14 ページをお願いし、
0:07:19	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、活断層評価の見直しが不要。
0:07:24	と判断した考え方がわかるように、こちらのページの記載内容の見直しを行っております。
0:07:32	まず、双方が用いているデータですが、地震本部は、地質調査所の音波探査記録をもとに評価し、
0:07:40	いうふうに考えられることに対しまして、弊社は、地質調査所だけでなく、
0:07:45	海上保安庁及び電力、
0:07:47	中央研究所の音波探査記録に加え、
0:07:50	当社独自の音波探査記録をもとに評価を実施してございます。
0:07:55	次に当社評価ですが、域北東部の断層群と警固断層材料は、地質構造が異なること。
0:08:03	肥後断層体の北西延長部では、B層の基底面がほぼ水平な平坦面をなし。
0:08:09	断層に伴う変状が認められないこと。
0:08:12	から、連続しない異なる断層と認定してございます。
0:08:16	これは地震本部との評価の違いにつきましては、
0:08:20	使用した音波探査記録の情報量の違いによるものと考えられ、
0:08:25	当社評価の方がより多くの情報に基づき、
0:08:28	断層性状を詳細に分析した上で、セグメント券

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:33	また、当該会議において、新たな追加測線もないことから、当社評価の見直しは不要と。
0:08:40	判断してください
0:08:44	15 ページをお願いします。
0:08:48	次に、第 1 ゴトウ対談相対についてです。
0:08:51	こちらは前回ヒアリングでも、
0:08:53	また、
0:08:54	地震本部と当社評価の断層分布図になります。
0:08:57	資料の変更点としましては、
0:08:59	先ほどの 13 ページ同様に、
0:09:02	発電所との位置関係がわかる図面を左側に、
0:09:05	市、
0:09:06	断層分布図中に、
0:09:08	示す黒線が、
0:09:09	何を示しているかがわかるように明確化を図ってございま
0:09:14	16 ページをお願いします。
0:09:17	こちらには、地震本部が参照している二つのプロジェクトと、
0:09:22	地震本部及び、当社の既許可評価におけるゴトウ西方の断層分布の重ねを示しており、
0:09:29	こちらの図面につきましては、前回ヒアリングからの変更はありませんが、
0:09:34	図の作成方法について、右下に追加をして
0:09:40	17 ページをお願いし、
0:09:43	こちらは当社の菊岡評価における第 1 ゴトウ退団総代北部区間付近における断層評価でございます。
0:09:50	前回ヒアリングからの変更はございません。
0:09:53	当社測線No.19 ニワ a断層は、
0:09:57	ください
0:10:00	18 ページをお願いします。
0:10:02	こちらは、当社の菊岡評価における、
0:10:05	第 1 ゴトウ田井断層体、南部菅付近における断層評価でございます
0:10:12	AフジイW4 断層の北端、
0:10:15	及び南端に関する評価に変更ありませんが、
0:10:18	フジイW4 断層に関する説明を、
0:10:22	一つ目の黒四角にて追記するなど、記載の充実化を図っており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:29	19 ページをお願いし
0:10:34	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、日本海地震津波調査プロジェクトによる、
0:10:39	新たな精査を踏まえても、活断層評価の見直しが不要と判断した。
0:10:45	考え方がわかるよう、こちらの資料を追加させていただきます。
0:10:49	左側に測線増、
0:10:51	右側に、当社及び日本海地震
0:10:54	津波調査プロジェクトの反射断面を掲載しており、
0:10:58	当該プロジェクトは、当社が、
0:11:01	GW4 断層の
0:11:03	北の止めとしている測線No.21
0:11:06	件において、
0:11:08	評価以降に、
0:11:09	反射法人探査を、
0:11:12	右下に示す通り、
0:11:14	NHKを形成する西側、資料では東側にありますが、
0:11:17	その斜面に断層を認定しており、
0:11:21	当社は既許可評価時に、右上に示す。
0:11:24	ナンバー21 において、
0:11:26	当該プロジェクトとほぼ同じ位置に、
0:11:28	連続性のない断層を、
0:11:31	予定させていただきます。
0:11:33	しかしながら、当該断層は、フジW4 断層の
0:11:38	負担の延長線上にはないことから、別の断層と評価をしており、
0:11:44	したがって、
0:11:46	日本海地震津波調査プロジェクトの知見、新たなデータを踏まえても、
0:11:51	当社の測線、ナンバー21、
0:11:54	フジW4 断層の止めの根拠とする。
0:11:57	他に影響はないと。
0:11:59	いうふうに判断してください
0:12:02	20 ページをお願いします
0:12:05	第1ゴトウ田井断層体に対する、当初評価としましてこちらのページを追加させていただきます。
0:12:11	地震本部は、
0:12:13	当該断層体の認定、認定に当たりまして、既許可以降の知見として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:18	日本海地震津波調査プロジェクト及び海域の海域における断層情報総合評価プロジェクトを参照しており、
0:12:26	断層トレースとしては、海域における断層情報総合評価プロジェクトが最も類似しております。
0:12:33	当プロジェクトでは、使用した測線密度がアライことから、海底地形をもとに、連続性を評価していると
0:12:40	言うふうにされて、
0:12:42	一方当社は、公的機関の測線記録、
0:12:46	及び当社独自の
0:12:47	音波探査をもとに、断層評価を実施しており、
0:12:51	地震本部と差異のある中部区間については、当社測線の音波探査記録をもとに、断層をに
0:12:58	してございません。
0:13:00	また、菊岡評価以降、日本海地震津波調査プロジェクトが実施した反射法地震探査記録、
0:13:06	こちらの記録を踏まえましても、当社の結局は評価に影響はないというふうに判断してございます
0:13:12	以上より、当社は、公的機関及び当社の音波探査記録を基に、測線間隔を三つに、
0:13:19	した上で、断層の連続性評価を行っていることから、
0:13:23	既許可評価を見直す必要はないというふうに判断しており、
0:13:30	21 ページをお願いします。
0:13:32	ここまでご説明した内容のまとめになります。
0:13:36	22 ページをお願いします。
0:13:39	地震本部が公表した、今回の長期評価について、既許可時の評価フローに沿って、
0:13:45	玄海原子力発電所への既許可評価への
0:13:48	影響確認を行いました。
0:13:51	まず活断層評価への影響ですが、
0:13:54	当社の海域活断層評価については、断層長さ等に注目し比較を行った結果、
0:14:00	地震本部で示されております茂呂シマ金海断層体と、
0:14:04	第1号藤田井断層体の二つの断層を、詳細な確認が必要な断層として抽出しました
0:14:11	この二つの断層について、結局評価では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	既往の公的機関の測線に加え、
0:14:17	当社独自の音波探査記録等に基づき、詳細な検討を
0:14:21	実施していることから、
0:14:23	評価評価を見直す必要はないというふうに判断してございます。
0:14:28	次に、地震動及び津波評価への影響についてですが、
0:14:32	か大気活断層評価を見直す必要はないと。
0:14:35	いうふうに判断しておりますので、基準地震動及び基準津波への
0:14:39	基準津波への影響もないと。
0:14:42	いうふうに判断しております
0:14:44	また、から、
0:14:45	確率論的地震ハザード評価及び確率論的
0:14:49	津波ハザード評価についても、
0:14:51	海域活断層評価を見直す必要がないと。
0:14:54	いうふうに判断しておりますので、
0:14:56	影響はないというふうに考えてござい
0:14:59	以上より、今回地震本部が公表しました日本海南西部の海域活断層の 長期評価、第1版、
0:15:06	に対する、玄海原子力発電所の既許可へ
0:15:10	評価評価への
0:15:11	影響はないことを確認してござい。
0:15:16	23 ページをお願いします。
0:15:23	当社としましては、
0:15:24	今申し上げました通り、海域活断層評価を見直す必要がないと。
0:15:29	考えておりますので、基準地震動基準津波、及び、ハザード評価への 影響はないと。
0:15:35	考えておりますが、
0:15:36	参考としまして、地震本部の評価を踏まえた地震動評価及び、
0:15:42	津波評価への影響についても確認しておりますので、次ページ以降で 説明
0:15:47	していただい
0:15:50	24 ページをお願い
0:15:56	こちらは、前回のヒアリングでもご説明しておりますけれども、
0:16:00	地震及び津波評価への影響確認におきましては、
0:16:04	対処、
0:16:05	先ほどの説明までで対象とした二つの断層を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:09	対象に検討を行っており、
0:16:11	地震本部の
0:16:13	評価では、両断層とも区間分けがされていますが、
0:16:17	こっからの検討に用いる断層の長さは、全区間を、
0:16:21	した場合の断層長さとして、
0:16:26	25 ページをお願いします。
0:16:28	まず、地震動評価への影響確認についてご説明いたし、
0:16:33	26 ページをお願いし
0:16:37	地震動評価への影響確認のフローを示しておりますが、
0:16:41	前回ヒアリングでもご説明した通り、
0:16:43	許可時の内陸地殻内地震に伴う地震動評価におけるフローに基づき検討を行ってごさい
0:16:51	27 ページをお願いします。
0:16:53	こちら前回ヒアリングでお示しておりますが、
0:16:56	検討対象の二つの断層については、
0:16:59	震度 5 弱程度以上の揺れが想定されることから、
0:17:03	敷地に与える影響が大きいというふうに判断しまして、応答スペクトルの比較による検討を行っておりますので、次ページ以降にてご説明いた
0:17:15	28 ページをお願いし
0:17:19	こちらには、前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、
0:17:23	オカ時における検討用地震選定の考え方に関する資料を追加しており、
0:17:29	評価では、ノダによる太田スベン応答スペクトルの比較により、
0:17:33	最も影響の大きい。
0:17:35	コガ断層を検討用で、
0:17:36	1000 年選定しております。
0:17:39	また、比較的、応答スペクトルが大きい傾向で、
0:17:44	高井が敷地に向かう層厚を持つ、城谷南断層も検討用地震として選定をしており、
0:17:51	なお、
0:17:53	11 番。
0:17:55	⑪番の、
0:17:56	石山断層体は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	青色で示す城山ミナミ断層体の応答スペクトルを、一部の周期体で上回っておりますけれども、こちらにつきましては、敷地からの距離が遠く、
0:18:08	断層の走向は、城野南断層のように、破壊が
0:18:12	向かう方向にはないことから、
0:18:15	検討用地震としては選定してございません。
0:18:19	29 ページをお願いします。
0:18:22	こちらに検討対象とした二つの地震について、
0:18:27	ノムラによる応答スペクトルの比較による検討結果を示しております。
0:18:32	右側に示しております。藤スペクトルの比較図に、前回からの変更ありませんが、
0:18:38	前のページでの検討用地震選定の考え方を踏まえ、記載の適正化を図っております
0:18:45	オノシマ金海断層体は、城野南断層体の応答スペクトルと一
0:18:50	で、一部の周期体で、
0:18:52	同等でありますけれども、既許可評価の西山断層体と同様に、
0:18:57	カトーク、層厚、
0:18:59	は、敷地に破壊が向かう方向にはない子
0:19:03	また、第1ゴトウ断層体は、全周期にわたり、応答スペクトルが小さいこと。
0:19:08	これらから、この二つの断層体については、
0:19:11	許可の検討用地震で代表可能であり、
0:19:14	検討用地震の選定、
0:19:16	2、
0:19:17	影響はなく、基準地震動の評価に、
0:19:21	影響はないというふうに考えてください。
0:19:24	30 ページをお願い
0:19:29	次に、津波評価への影響確認についてご説明いたします
0:19:34	31 ページをお願いします
0:19:37	津波評価への影響確認のフローをする
0:19:40	んですが、前回ヒアリングでも、
0:19:43	通り、
0:19:44	オカ時の海域活断層による地殻内地震の津波評価におけるフローに基づき検討を行ってください
0:19:52	32 ページをお願いします

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:57	こちら前回のヒアリングにてお示しておりますが、検討対象の二つの断層
0:20:02	で、簡易予測式による
0:20:04	津波高の検討を行った結果、
0:20:06	推定津波高が1メートル以上となったことから、
0:20:10	シミュレーションによる、
0:20:11	強化
0:20:14	を行っておりますので、次ページ以降について8ページ以降にてご説明いた
0:20:19	33ページをお願いします
0:20:22	こちらには、
0:20:24	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、
0:20:26	評価中におけるパラメータスタディの考え方に関する資料を追加してご
	ざいます
0:20:32	今回の検討におきましても、帰国強化評価と同様に、
0:20:37	こちらのページに示す不確かさを考慮したパラメータスタディを行ってご
	ざいます
0:20:44	34ページをお願いします。
0:20:48	こちらに数値シミュレーションによる津波計算の結果を示しております。
0:20:53	計算結果につきましては、前回ヒアリングからの変更はなく、
0:20:57	二つの断層体による
0:20:59	最大水位変動量は、
0:21:02	許可評価における基準津波を下回って
0:21:04	から、
0:21:05	基準津波への、
0:21:06	影響はないというふうに判断してござい
0:21:11	以上でこちらの資料に関する説明。
0:21:15	となります。
0:21:21	はい。規制庁鈴木です。はい。説明ありがとうございますちょっと前回か
	らの、
0:21:26	修正点をということなんですけど。
0:21:30	どうでしょうか。話の数字として改めてですけど8ページかな。
0:21:40	一応全会計、
0:21:42	一応御社としての結果までは一応一通り、
0:21:46	聞いていって今回は8ページの右側ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:52	営業確認方法っていうところをもう少し具体修正してきていて、
0:21:57	一つ目はまず、敷地周辺の地質地質構造のところ、まずは単純な評価の際ですよね。
0:22:06	採用を整理して、明らかに、
0:22:12	教科の評価の方が長いとか或いは位置的に、
0:22:17	発電所でかなり遠いので、ここは詳細確認もしっかりしないでしょうと。それは詳細は 12 ページで書いてありますけど、そういうものをスクリーニングアウトして、
0:22:27	詳細確認が必要か否で必要として残ったものが、
0:22:33	あれかな 12 ページの卸きんかんとあと第 1 号当貸。
0:22:38	これが残りますと、
0:22:40	今度はその抽出された二つの断層について、境界以降に公表された地形地震本部 2022 っていうかその元になっている。
0:22:51	内容ですよ。それを整理して、
0:22:55	なぜ差異がそう生じるのか、見直す影響がないのか見直す必要がないのかを検討して、
0:23:01	活断層評価に影響があるか否かで、ここは一応流れとしては影響なしっていうのが一応基本と結論で、
0:23:08	この五つ差異が生じているので、あくまでこれは参考という位置付けで、地震動評価津波評価への影響っていうかそれを取り入れた場合どういう。
0:23:20	仮にそういう場合、評価、仮に評価してもどういう感度が出るのか。
0:23:24	基準津波基準地震動に間影響してくるような感度はありませんよねっていうので、今回参考って形で、あくまでこのフローとしては、
0:23:32	二つ目の②のところの下で影響なしに行くんだけど、
0:23:36	一応影響ありとしたような場合と同じような確認をしたと。
0:23:40	というのが、一応全体の流れかなと思うんですけど。
0:23:44	それはまあいいですかね。
0:23:49	九州電力のムラカミ
0:23:51	資料の流れ、
0:23:53	としまして、資料の流れと、今回の我々の評価につきましては、今、鈴木さんがおっしゃられた通り、
0:23:59	の流れになってござい
0:24:03	はい、ありがとうございます。そうすると、この 8 ページ目の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:07	①のところは定性的に明らかにトイレの維持の方が評価がないだろうって話なんで、あんまり重要ではなくて、②のところですよ。
0:24:19	ここで
0:24:22	表、両者の長期評価の、地震本部の 2022 と許可の評価との差分でなんでその差異が生じているのかっていうところが非常に重要になるんですけど、
0:24:34	ちょっと 5 ページ目戻っていただいですねえ。
0:24:40	で、これは一応地震本部の 2022 では、多分、本文中で、こんなようなものが発表されてるとかですね、九州電力、玄海近くであれば九州電力がこういうものもやっていますよと。
0:24:54	いうのは字づら上書いてあるんですけど、
0:24:59	一応この一番下に海域における総合評価プロジェクトJAMSTECのやつですね、これは、
0:25:06	この最後の書き出しのところに、上記によって獲られたって言ってるのは、これは、
0:25:13	1 個上の日本海地震津波調査プロジェクトのことですかね。
0:25:19	ちょっとねこれ後に見ていくと、何か差異が生じているのが、
0:25:24	これそれぞれ、
0:25:25	どのデータで判断しているのか。
0:25:28	ていうところなんですけどこの上記って言ってるのは、これは、
0:25:35	一つ上のものを指している。
0:25:38	何かデータ多分いろんな、反射断面などのデータを収集整理して、
0:25:43	これを基礎にしてデータを整備しました後に見ていくと。
0:25:48	多分このプロジェクトで、
0:25:52	聞いているそのタンク。
0:25:54	多分、参照して、長期評価で、いわゆる第 1 ゴトウたいとか、線を引きましたみたいになっていて、その中に入ってるデータっていうのは、
0:26:04	これはどこまでの範囲のものなのかちゅうのがちゃんと確認
0:26:08	されてますか。
0:26:12	はい。九州電力の徳永です。こちらの記載概要の記載ぶりについてですが、地震本部の今回の長期評価の 13 ページに書いてある文章をなるべくそのまま引用するような形で記載しております。で、
0:26:27	今回のこのJAMSTECの分については一連の上、産総研から、東大寺震研の日本海地震津波調査プロジェクトまでのの内容が書いた上で、上記によって獲られた反射断面、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:40	の断層情報を含むデータを収集整理し、評価を行ったものというふうな記載がありますので、基本的には、産総研から東大人権というふうな理解をしてございます。
0:26:54	ただし、後に、第1ゴトウ体のところがJAMSTECと今度
0:27:00	東大震研の話が出てくるんですけども、
0:27:04	このJAMSTECがですね、この第1号棟田井付近を解釈している時が平成27年から28年の報告書のところに記載がございまして。
0:27:17	その時の報告書を見ると、東大寺シンケンのこのダンス反射断面を引用したような記載がなくて参考文献にも特に記載がなかったんで、
0:27:29	明確にこの第1ゴトウ体の時にこの東大地震研を参照したかどうかというのが我々もちょっと各確認がしっかりと取れていないというような状態、
0:27:39	実際にこの総代地震研がこの会計をしたのが平成27年で報告書をまとめたのが平成28年という記載もございまして、おそらくこの第1号と第2限って言えば、この断層総合評価プロジェクトの部分は入ってなかったんじゃないかというふうな理解をしてございます。以上でございます。
0:28:00	なので、あれこれどっかデータベース化されて公表されて、あれ、非公表なんでしたっけ。いや単純に、
0:28:08	長期評価のところもそうですけど、結局御社、この審査の中で、当時提示していた、やはり測線とかデータとかああいうものが、
0:28:18	もう
0:28:19	確認した上で、こういう評価になっているのか、当然いろんなものがあるので、それぞれ、多分これ長期評価の中でも調査で用いられた探査システムはそれぞれ仕様が異なりとかですね。
0:28:30	一応こう、いろんなデータ、こういう文献が来オオイワれてますよと言いつつ、
0:28:37	多分、活断層の位置、位置については、何だっけあんまり9電のやつを参照するとは書いてないような気もするんですけど。
0:28:45	あとはデータがいっぱいあるので、とりあえずその海底面からあれ、
0:28:51	3、鮮新世だっけ鮮新世の何かそこで判断するとか、多分前提条件がいろいろ書いてあると思うんですけど。
0:28:59	そういうところでの違いなのかや同じデータを眺めながら、長期評価と9電当時の旧レートで違う判断をしているのか、そこをちゃんと
0:29:08	わかるように表記しないと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:12	ですよ。
0:29:13	同じものを見ながら、
0:29:14	意見が分かれていて、いや当社は当時の判断はこれで変わりませんとだけ言っていると、あまりそれって新知見の収集分析にならないので、
0:29:25	そこら辺でね前提どこまで、いずれからね、は判断するしかない部分もあるし、
0:29:32	場合によってはこの総合評価プロジェクトの中で、どういうものが使われているのかとか、今回のその田んぼを決めるときにどの測線が使われているのかっていうところは、
0:29:43	そこで極力、
0:29:45	把握、
0:29:46	に努めたということですかね。
0:30:08	とりあえず、5 ページのところは極力長期評価のところの文言を守ってきましたってことで、
0:30:17	その蒸気っていうところには自社のものも入っているんでしょうと。
0:30:23	あくまでここは総論という意味で多分まとめているんで、ここの断層の時に何を重視したかっていう話ではないと思いますけどね。
0:30:31	はい。その上でですよ。
0:30:34	微妙になってくるのがだから 12 ページ、11 ページ 12 ページで、
0:30:39	差分が生じたところなんで、これ前回と同じように卸し積委員会の、
0:30:46	方に、
0:30:47	と、13 ページですかね。
0:30:50	ここでギャップ。
0:30:51	分が生じます湖西が生じます。
0:30:56	次の 54 ページに行くと書き出しがですね、地震本部は地質調査所の音波探査記録をもとに評価していると考えられる。
0:31:07	ことに対していうふうに、
0:31:09	ここで、
0:31:11	急にそういう断りが出てくるんですよ。5 ページのところでは、地質調査所って言うてるのはこれは、
0:31:19	あれか、産総研の
0:31:23	旧名称って意味で産総研のこと言ってるのかな。
0:31:27	これ、何か唐突にここで、いやこの断層はですね、地震本部は地質調査所の記録を基にしていると、当社はそれだけではないっていうと何となくここで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:37	元にしたデータに差があるんだらうなっていうのがあんですけど。
0:31:41	これは地震本部が地質調査所の音波探査記録をもとに評価してるっていうのは、これどっかで書いてあるんですけどこの断層はこのデータだけで評価しちゃって、
0:31:53	この資料上何にも出てこないで、5 ページだといろんなものをですよ。
0:31:58	含めて評価したという流れで説明していくと。
0:32:01	14 ページなんて唐突にこの断層は、本パターン、地質調査所のバランサー記録をって言ってるんですけど、14 ページに書いてあるのは、
0:32:09	これは、
0:32:11	当時の
0:32:12	審査会合資料だから、地震本部今回の地震本部がどう判断したかではないですよ。
0:32:18	そこはどこを参照して一応こういう言い切り方を、
0:32:22	されてるんでしょうか。
0:32:24	はい。九州電力の徳永です。先ほどの 5 ページ目 6 ページ目に記載をし、すいません、正しくそういうふうに読めるように記載をしてなくてちょっとわかりづらかったと思います。
0:32:35	で、まずこれ、6、5 ページ目の 6 ページの基本記載している内容は長期評価からの引用をベースに作ってございます。まず、6 ページ目に、
0:32:45	長期評価に用いた主な反射法地震探査測線っていうと、基準面の年代推定に用いたボーリング調査の位置というタイトルをもって、
0:32:56	この図面が長期評価の中で掲載がございまして。この中で、産総研と書かれているのが、5 ページ目で言うところの、
0:33:07	1985 年 1986 年、それと、渡島大地震県が日本海地震津波調査プロジェクトで、芳賀江刺他測線、大きくはこの二つを
0:33:20	長期評価に用いた主な反射測線というふうに記載がございまして。それと併せまして、上の、地震本部が実際これも記載している文章なんですけれども、
0:33:32	引用したデータの中に確かに松元岡村 2011 というのがございましてこれは福岡県西方沖地震の震源域周辺までのブーマの調査をやってございましてけれども、
0:33:46	今回の我々の域北東警護断層にわたる区間を網羅するような形でデータがあるというものにつきましては、冒頭ありました産総研のデータをもとに解釈をしている地震本部から言えば、記載されてる文章としてはそのデータしかないというふうな状況でございまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:05	そこら辺を加味しまして冒頭、地震本部和智町のデータをもとに評価しているものと考えられるというふうな記載をさせていただきます。以上でございます。
0:34:27	なるほど。
0:34:28	今長期評価の、何だっけこれは 38 ページの卸近海断層体、
0:34:34	この文言を見てるんだけど、
0:34:41	こう見てもあんまり、
0:34:43	地震本部はこの断層について、地質調査でのパターン差記録を基にしているとは書いてはいないが、
0:34:57	警護断層の周辺に位置しているトレースにギャップが存在する。
0:35:05	一応海上保安庁による福岡湾の探査で確認された断層。
0:35:11	と一部が一致する。
0:35:14	確かにあんまり周りの家 5 断層とかそういう周りとの関係は書いているけれども、
0:35:21	あまり直接的には、
0:35:24	どの測線これはこの測線で判断したみたいな明確なものはないわけですね。ないけれども、
0:35:30	6 ページにあるような原則は、一応これをもとに、ベースに、
0:35:37	判断をしているということでその前提で書いてるわけ。
0:35:42	はい。
0:35:43	だとするとね多分、ここの 6 ページ。
0:35:46	うん。
0:35:47	基準名、主ななるほどね。
0:35:54	はい。
0:35:56	そこら辺はね話として、
0:35:58	ちょっと今なんていうか、14 ページかなり唐突に、話が出てきたなと思ったんで、一応こう引用したデータはこれだけあるんだけど基本的にその中で何に基づいてやっているのかとか、
0:36:10	あと多分ね活断層の位置、
0:36:13	だったかなあ。
0:36:15	1 構図構造といけないかな。1 については、
0:36:19	多分、文科省の
0:36:21	日本海地震津波プロジェクト等会議における活断層情報総合評価プロジェクトと、
0:36:29	岡村 2014 と言ってたのかな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:32	なんかそれをもとに、
0:36:34	等の基オノって言って多分重視してるのはその三つですみたいな書き方もしているの、
0:36:41	ちょっと前提として長期評価いろいろこういうデータを使ってるんだけどその中で何を重視してるとか、こういう、
0:36:47	特にそのまあ、例えば測線エミ 4D断層の端部決めたりするときにはどうというルールに基づいて一律やってるのかとか、
0:36:55	多分そこら辺はね冒頭に、
0:36:58	書いてあげないと、後との繋がりがわからないかなと。
0:37:03	ています。それが、
0:37:06	たまたま今回、少し端部のところで微妙な違いが生じているので、
0:37:11	足それがないんだっただすね、あんまりこう、
0:37:15	そこら辺の説明なくてもですね、後の説明繋がるんですけど、かなり端部とか、
0:37:21	何か複数の評価ある中から何もどれかを選んだんだらうみたいな、推測が入るので、そこは多分前提のところ、5 ページ 6 ページなのか或いは、この後に、もう少し、どういうものを重視して評価されたものなんだっていうのをわかるように、
0:37:36	した上で、
0:37:37	後の説明をさしていただく方がいいかなということです。
0:37:46	九州電力の徳永です。今鈴木さんからいただいたご指摘の通りだと思っております。
0:37:52	弊社といたしましては最初こちらの 5 ページ目 6 ページを開くまで、使ったデータ新しく、反射法断層探査とかで獲られたデータがあるかないかという視点でちょっと整理をしてございました。
0:38:04	ただしこの地震本部の評価にあたってはこの両プロジェクト並びに岡村 2014 っていうのが大きく、
0:38:11	この解釈を最終的に断層認定をする上での重要判断となったであろう知見ということも我々は承知してございますのでその辺がわかるように、
0:38:21	記載をしたいと思います。以上でございます。
0:38:40	はい。お願いします。どこだ、ああそうか。
0:38:43	そうですね。ちょっと待ってくださいね。
0:38:47	あと、そうですね長期評価の、
0:38:50	何ページだこれ、14 ページとかも見て、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:54	見るとこれ活断層の認定D、これ多分もともとこういう基本のことが言われてましたとかですね。
0:39:01	2パラ目D海域における総合評価プロジェクトではこうですか、
0:39:05	で、
0:39:06	本評価ではってというのが多分中程からあるのかな。
0:39:11	多分ここいろいろこう言われております。本評価ではこの資料に報告されているトレースに基づいて、
0:39:18	利用可能な反射断面、海底地形データを用いて活断層の選定、
0:39:23	マニュアルをやるとかっていってそのあとに多分原則として海底直下の鮮新世以降の地層に5から10メートル以上の商品を与える。
0:39:31	この認定したとか多分こういうようなところが所要の前提が多分あるんだと思うんで一律に今回いろんなものを扱うにあたってこうしましたとか、
0:39:39	もしかしたらそういうところで差が出ているのかもしれないし、
0:39:43	ちょっと前提としてどういう使い方をしてるかっていうところは書いて、
0:39:49	ということでお願いします。その上ですよ。
0:39:52	この14ページのロシマ金海断層でこれは、
0:39:57	もともとのその端部で判断してるデータが違って、
0:40:04	自社では、そういう、それと異なるような、それ以降のデータなんかを使って、
0:40:11	評価をしていますと、ここは活断層評価としては見直さなくていいんですと。
0:40:17	いう評価ですね。はい。
0:40:21	何となく話の数字は、すいません
0:40:23	わかりました。
0:40:24	もし、ちょっとこの間で何かなければもう次の定第1ゴトウ体の方、こうと思いますけど、
0:40:33	松井さん
0:40:39	等、
0:40:41	この資料、
0:40:43	見ると、
0:40:46	御社の評価と、
0:40:49	地震本部の評価は、1と長さしか書いてないんですよ。
0:40:54	比較してないんですよ。
0:40:56	結論的にはそうなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	例えば 1000、傾斜角は、断層
0:41:04	細かなデータもないんですけども、
0:41:07	地震本部の評価はパラメーターですね。
0:41:10	傾斜だとか、
0:41:11	例えば変位方向だとか、
0:41:15	そういうものもやって、同じものを見るよとか同じ評価でしたとか違う評価でしたっていうところをちょっとまとめていただければ、
0:41:23	見る方としては安心かなと思うんですけどもいかがですか
0:41:29	九州電力の徳永です。こちらの海域の断層につきましては地震本部につきましては、
0:41:36	基本的に
0:41:40	対馬の方の外縁を沿うような形の断層を右横ずれの断層として評価をしてございますそれと、
0:41:47	陸から、飛田、津島側とか、飛び出す方向の断層を左横ずれ断層というふうに基本的には、消化をさせていただきます。
0:41:56	で、当社もこの地震とか津波評価をするにあたりましては基本的にこの横ずれ断層というふうなベースを置いた上で評価をしているということで、そこに大きな差はないのだろうというふうに考えてございます。
0:42:10	細かく断層面の傾斜方向とかっていうのが後継者が高角傾斜とかそういうのも少し詳細に記載はありますので可能な限りそこは対比ができるように記載をしたいと思います。以上でございます。
0:42:25	もう、個別のところにも変位方向なんかは限定して、言及して書いてあるんですけども、
0:42:32	例えば
0:42:34	等、
0:42:36	一番最後、清。
0:42:38	前回ちょっとコメントさせていただいた、フジイW4 ですかね。
0:42:44	ええ。
0:42:46	ページ、18 ページあたり。
0:42:49	これもう
0:42:55	地震本部では、北東方向のGWNEAT一連の断層という評価にしてるわけですよそれで、
0:43:02	次のページの 19 ページの、
0:43:07	日本海プロジェクトの
0:43:09	測線エンドウを確認していただきたいということでここへ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	御社の評価も書いてあるんですけども、そういうところという点においても そういう変位方向の、
0:43:22	が、一緒なのか違うのかっていうことも、
0:43:25	これも
0:43:29	例えば、これで見るとですね例えば 20 ナンバー19 ページで言わしてい ただけると、
0:43:36	21 番の総御社の測線と、
0:43:41	プロジェクトの測線は書いてあるんですけど例えば、
0:43:46	22 番はどうだったのかとかですね。
0:43:50	やっぱり疑問に、そこを確認。
0:43:53	さしていただければ、
0:43:55	こちらも直井層に、
0:43:58	延長方向にないよってこの 22 番の、この位置が確かにここだったらば、 確かに地震を、
0:44:07	プロジェクトの 1 と 1 がずれてるよねっていうのが確認できるのでその 辺も、
0:44:12	資料をつけていただければありがたいなと思います。
0:44:17	九州電力の徳永です。先ほど松末さんからコメントいただきましたナン バー22 測線につきましても資料に記載をつけて、
0:44:26	23 と類似したような測線になると思いますけれども、それをつけさせて いただきたいと思います。
0:44:34	疑問を持たれないよっちゅうか、未読んでの方がずっと納得できるような 資料にさせていただければと思います。
0:44:43	いたしました。
0:44:48	はい。じゃお願いしますね。成長で今、ちょっとその 14 ページ。
0:44:53	ずっと最後まで戻っていただきたいんですけど、これ、
0:44:57	14 ページの、ちょっと凡例とそもそもこの図自体がほとんどかすれて色 の違いがよくすらもあんまりよくわかんなくなってるんですけど、
0:45:06	これ一と凡例に音波探査測線ってあって上の 9 電給電給電解放。
0:45:13	工業技術院実質調査所って言うてるから、
0:45:19	下から三つ目のやつが、地質調査上のって多分この、
0:45:24	一つをベースに、
0:45:26	評価をされていてやや自社はその下の解放電中研、
0:45:32	その回付上にもあるのか
0:45:35	といっ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:36	ているのであれば、多分これ凡例のところにも1 出場され、これもちょっと読みやすくするか、久野どれ。
0:45:43	いや、この一つをベースにしているものと我が社はこれを全部ベースに評価してるんですっていうなら多分そういう差分が分かるように、
0:45:51	吊るしていただきたいのと、
0:45:53	そういう主張されるのであれば、能登を少し、
0:45:57	画像解像度何とかならないですかねっていう、
0:46:01	これ、これ一地質調査の測線なんかを、何となく淡い色っぽいやつは幾つかあるんだけどこれはどれだとかですね。
0:46:10	すいません私の色の見分けがもうつかなくなっているのか、ちょっとですね。
0:46:15	これ、
0:46:16	海保のものとか9 電のやつとかの色とか、
0:46:20	違いがよくわからんのですよ。
0:46:23	これちなみに地質調査所ってこれはどっち向きの。
0:46:27	多分断層に対しちょアノす直交しているような測線なのかどっちだろうな。何かそうでもないような測線もありますよね。細かい。
0:46:35	周辺の物置っていうやつ。
0:46:37	一緒になってるか、どれだろう。
0:46:41	これ、
0:46:42	地質調査所って言ったやつはどれでしたっけ。
0:46:47	当時の資料ですいませんけどすみません。九州電力の徳永です。北東から南西方向にはメッシュ状に切って走っているような測線、これが、
0:47:00	あ、そうです
0:47:01	そうですね。はいはい、北東から。
0:47:05	7000 万達成に向かって走ってる走ってそれと直交するほぼ並行してそうですね。行ってるやつは、
0:47:15	これ何か所々密になってるやつはこれ別にそれが他、
0:47:20	ほぼ開放の開放のやつは、ここの、
0:47:25	を南北南北に行ってるよね。はい。
0:47:28	そういうことですか。
0:47:30	なるほど。乙こういう少し感覚が、全体をなめるように間隔がアライようにとってあるのが地質調査所で、所々密にとっての開放で、
0:47:40	この断層をピンポイントで取ってるのは我が社でという多分そういうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	ちょっとそこら辺ね、
0:47:47	何かわかるように、
0:47:49	この、これ、当時のものですけど、多分それをこう抜粋っていうときに貼り付けて、さらに画質が落ちてってなってると思うので、
0:47:57	もう必要だったらこれ多分次のページに1枚そのままつけていただいてそこに当時の資料に、
0:48:03	このページで言わんとしていることをですね、
0:48:08	加筆するとか、
0:48:09	そういう工夫を、
0:48:12	多分いただいされるといいんじゃないかと思えますけどね。
0:48:15	はい。
0:48:16	はい。九州電力の徳永です。非常に見にくい資料になってしましまして誠に申し訳ありませんきちんと解像度を上げて、識別ができるように、我々が言いたいことがきちんとわかるような絵になるようにちょっと修正をさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。
0:48:33	はい。お願いします。江田です。15 ページが、
0:48:38	ダイイチゴトウ田井断層体で、これは地震本部ではっていうことで、
0:48:44	確かに地震本部ではっていうと、
0:48:49	またどこ行ったかな。
0:48:51	タッフ
0:48:53	あんちよつと経った。
0:49:10	そうですね。これ多分上記評価のところ、
0:49:14	確かに並列するような形で、
0:49:18	と九州電力や、総合評価プロジェクトで日本海親善プロジェクトによって認定されてるけどそれぞれの範囲が一致しませんと。
0:49:29	困ったので、本評価では、それぞれの違いは、
0:49:33	多分そこで、それぞれの違いを元たどって多分評価をしてやるということではなくて、
0:49:38	ここは全体を一連のものに、と割り切って判断しましたよと。
0:49:45	ということで、確かにこの字づらの通り書いてありますと、
0:49:50	その前のくだりは、確かそうかもともとワー第1ゴトウ断層体こういう横ずれ断層です。
0:49:59	ただし、断層周辺には評価で用いたオノ測線、中長期オカダと図3とかかって感じですけど、
0:50:06	もう外側にある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:08	ため、
0:50:09	断層、
0:50:10	3.1 の信頼度それに基づく断層長さの信頼度を判定できない。
0:50:16	ていうのがもともと書いてあって、
0:50:18	それがあれですかねえ。もともとの地質乗車場等多分東大の測線があ って、その外側にあるので、
0:50:27	多分ある程度信頼度等をもって判定できなくて、
0:50:30	さてどうしようといって既往の活断層評価例が三つあって、ただ三つと も、違う。
0:50:37	日ところで、長さをとっての担保をとっているので、
0:50:41	困りましたと。
0:50:43	一番全体で評価しましょうって多分そういう流れだと思うんですけどね。
0:50:48	そこで最後、一つ、これはあり得ると思いますけど割り切った判断で、
0:50:55	A全体を一連の活断層をしましたと書いて、
0:50:58	いうことなんで何かこう明確にこのデータでこうやって端部を決めたとか かっていう作業をしてるわけじゃありませんねと。
0:51:06	ええ。
0:51:08	一方、規模評価では、
0:51:11	かくかくしかじかでこういう断層で対応させて評価してますと。
0:51:16	ということなのですが、
0:51:18	これ単に 15 でそれぞれの断層をどう、それぞれの機関で評価してたか で、
0:51:25	はいはい。これは、このいずれ通りなんでしょうねと。
0:51:29	次 2、
0:51:30	これもですよ。その李差分がどうやって、
0:51:36	地震本部 2022 からだと難しいので、
0:51:39	じゃあ何を参照して地震本部 2022 の長期評価は端部を決めたのかと いうのが、次の 16 ですか。
0:51:48	これがもともとプロジェクトが二つ走っていて、それと比較するとどうや ら、
0:51:55	断層情報総合評価プロジェクト。
0:52:00	のトレースに一番近いと。
0:52:03	いうことなんで、おそらく、
0:52:07	全体のっていうと、
0:52:10	明日、次、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:11	測線年測線じゃないかセトレースとしては、
0:52:14	一応そこから持ってきたと。
0:52:17	うん。
0:52:19	そうするとそのプロジェクトはという、どうやって決めましたかというところで、
0:52:24	これは、
0:52:25	断層情報総合評価プロジェクトが当該エリアについて測線密度が楽。
0:52:31	隣り合う測線での連続性判定で困難であることから、
0:52:36	したとされている。こっちは何かかぎ括弧で困ってないんですけど、これはそのプロジェクトのところに行くときとそういう。
0:52:44	のが何か書いてあるんですか。
0:52:46	はい。九州電力の徳永です。こちらの記載ぶりにつきましては断層総合評価プロジェクトの報告書から、この
0:52:55	この海域の評価をされているところの文章の中で、持ってきているものでございますので鍵括弧をして全然問題ない文章でございます。
0:53:07	ただ、何でここは当該エリア、当該から判断したまでが、これそのまま持ってきたわけですね。
0:53:15	ただそこで言われている測線密度が荒く隣り合う測線でのっていつてる。なんでここ結局そうすると、このプロジェクトで、
0:53:25	どういうものを参照して、
0:53:28	判断をしていたんであろうか、そこが明治期ねこのデータとこの測線とこの5本の測線、この10本の測線とか書いてあると非常に、
0:53:38	簡単なんですけど、
0:53:41	これそれまでは他どう。
0:53:44	でなかったのが、それは、
0:53:47	この16ページに書いてある。
0:53:50	どれだ。
0:53:52	ないんだよね。
0:53:54	海域における断層情報総合評価プロジェクトにおける断層っていうものは書いてあるけど、
0:54:01	それがー
0:54:03	どういう測線情報からなのか、どういうクライテリアで断層を判定したのかってそこまでは何を得てないのか追えないのか。
0:54:13	てないのか。
0:54:15	そこが、例えば990の測線とかも見ながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:18	評価をしているのか、いやそうではなくてここも結局、
0:54:22	ある、限られた測線で判断をしているから、こういうように、
0:54:27	今ですね、測線密度が荒くとか何か書いてあるのは、それ何を、何を見て測定密度粗くとかそういうところまで覚えてるんですかこれ。
0:54:36	九州電力の徳永です。アノ断層総合評価プロジェクトで相場的に、産総研の測線であったり、上部メック石油公団の測線とかを見ながら、認定したというふうな記載はあるんですけども、
0:54:49	このエリアでどの測線を見たかっていうのは明確にし、報告書の中には、記載がないと。
0:54:57	いうものでございますので、
0:54:59	ここの実際に何が荒くてええと、
0:55:03	どこを見て何がアライといったのを、ように読めるような報告書ではないというようなものでございます。
0:55:11	そうか。そもそも当該エリアって書いてあるんで当該断層ではなくて当該エリアと言っていて、
0:55:18	当該エリアってどこまでのエリアなのかにも、いや、
0:55:22	このんもっと広いのか、これ多分九州だけじゃなくてもっと広い。
0:55:26	いいすかね。
0:55:27	違うのかな。
0:55:29	ここも多分当該エリアってどこどこなんではあるんですけど、少なくともこの断層に対してダイレクトに行ってるわけじゃなくて、
0:55:37	丸エリア全般的にあたって、
0:55:39	総論的にこういうことが書いてあるわけですね。
0:55:43	はい。九州電力の徳永ですスズキさんのご認識の通りでこの断層だけではなくてところ、こちらの海域から南の方まで含めたかなり広い範囲の記載ぶりというものになって
0:55:57	でございます。そこちょっと資料、我々の方で今ちょっと確認はしているんですけどちょっと今すぐ手元にございませんでそこは明確に、
0:56:05	記載できるようにしたいと思います。以上でございます。
0:56:10	はい、わかりました。で、
0:56:12	これを見ると、はい。
0:56:14	反射記録断面で特定できた断層。
0:56:18	何でもまずここには断層があるなというのは反射断面、記録断面で特定をして、
0:56:25	そのあとは、さてどこまで、1本にしましょうかは、海底地形図を用いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:32	どこかで、
0:56:34	ここは、
0:56:34	連続性を判断したっていう。
0:56:37	事何か第1ゴトウ体のその北と南本社でいうとこの何だこれはなかなか通りシマ
0:56:46	西方沖断層と宇久島北西沖断層、
0:56:50	この間のところで何かを発見したわけじゃなくて、ある程度
0:56:54	個々の断層の場所は特定。
0:56:57	場所なのかな特定できた断層について後は海底地形で、
0:57:03	というのか、ある程度の判断でつなげたと。
0:57:07	いうものですよと。
0:57:10	なるほど。で、それに対して我が社は、一応この
0:57:14	それぞれの1個1個ですかねナカ赤字ナカ。
0:57:19	藤藤島西方沖断層と、福島北西沖断層それぞれの北端と南端をこうやって決めております。
0:57:26	いうのが、
0:57:27	1078ということですね。
0:57:29	なるほど。話の、
0:57:31	言いたい話の筋は何となく、
0:57:34	わかりました。
0:57:39	1078はこれ、当時の評価で、
0:57:43	こうやってそれぞれのって言って、
0:57:46	これ全部の北端南端の話全部してるんです。
0:57:50	これは例示なのかな。フジイWの何。
0:57:53	丹。
0:57:55	第1ゴトウ田井断層退去が評価でいうとこのFGW
0:58:02	第1ゴトウ田井南部。
0:58:05	の端部、ちょっと差がありますけど、これも説明が、
0:58:10	17で、
0:58:13	フジイW、
0:58:15	ちょっと待ってくださいね。
0:58:19	フジイWII
0:58:22	フジイWII
0:58:29	これは16、
0:58:31	ずっとどうぞ。ちょっと待ってくださいね。今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:35	宇久島北西沖断層群の南端を、
0:58:40	ちゃんと止めてますよという説明が 17。
0:58:44	で、
0:58:47	フジイweオンダん 4 の、
0:58:51	北端、
0:58:53	をこうやって止めてますよというのが、
0:58:56	これ、
0:58:58	18、
0:59:00	なんで間が空白であるというのはちゃんと確認してますよという説明を、
0:59:06	いるんですね。うん。
0:59:13	そうするとそう判断。
0:59:15	何とか 16 ページで多分差分があって、こういう差分が出たんで、どうい うことを説明したいんですかが、
0:59:24	いや従ってこういう説明をします。それはこっちの南端については 17 ペ ージ、こっちの北端については 18 ページです。
0:59:31	従って多分そういう、
0:59:34	説明すべきだと思うんですけど。
0:59:37	そういうところあまり端折らないほうがいいと思いますけどね。
0:59:41	すいません一応そこまでの 18 ページ、17 ページ 18 名と言わんとし ている意図は間違ってます理解。
0:59:48	九州電力の徳永です。鈴木さんのご認識の通りで、すいません我々の 表現が、
0:59:53	端折り過ぎていて申し訳ございません。
0:59:56	15 ページ、16 ページにちょっと記載をしているんですけど当社、今回の 第 1 号当貸については当社のフジイWの 1 に、それと 4 に、
1:00:07	対応するだろうというふうに記載をしてございます。そのうちの 12 につ きまして、2 とフジイWの 4 の間の部分につきまして、2 につきましては、
1:00:17	南側の止めを 17 ページ。
1:00:20	フジイweオノキタノ止めを、18 ページさらにフジイW4 の南側の止めを No. 24 ということでこれも同じく 18 ページに記載しているつもりなんで すけれども、
1:00:33	これがちょっとわかりづらいと思いますのでそこをきちんと明確に記載を させていただきたいと思います。以上でございます。
1:00:43	はい。お願いします。はい。なんでちょっと 16 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:49	こういう差分が生じたんで、従って、それについて何を説明すべきと考えて1067、1078が、
1:00:58	19まで細かな
1:01:00	そうですね、はい。
1:01:02	特にここの北端の止めのところの付近では一応
1:01:08	総合評価プロジェクトも多分、そのデータ使ってるあろう東大測線、地震計の測線があるんで、
1:01:16	それについて申し上げれば同じような位置でこういうものを評価してるんでっていう。
1:01:23	多分遠田地震研の方の測線も、多分前の文脈を見る限り、
1:01:28	なんていうか、その止めれなくて、つなげているというよりは、一応海底地形図で、最後つなげてるっていう話だと思いますので、
1:01:36	はいはい。
1:01:40	あと、微妙に何か南端も違いますけど、
1:01:43	これわあ、
1:01:44	何か理由とかよくあれなんかも微妙に違う。
1:01:47	たんじゃなかったでしたっけ。
1:01:49	違わなかったのかな。
1:01:52	ランタンは一緒だったのかな。
1:01:56	この機種、九州電力の徳永ですナリタの方も、長さが違います16ページ等を見ていただければフジイW4よりもさらに南側、南西側に、
1:02:08	伸びたような形のオレンジの地震本部の測線に、線に、
1:02:12	断層認定するの、トレースになってございますので、それを我々はフジイW4の、
1:02:19	南側の止めということでNo. 24 測線を提示しているわけですがけれどもちょっとそこも明確に読みにくいところがございますので、記載の適正化を図りたいと思います。以上でございます。
1:02:31	はい。よろしく願いしますというか、多分、
1:02:35	結論としては敷地から離れていく方の、
1:02:38	断層でおそらく地震動評価上は単体で多分検討地震の選定の比較にすら入ってこないような位置にあるんですけど、
1:02:47	とはいえ一応敷地の種周辺の地質地質構造のところ、当時一旦この中通シマ西方沖断層で北端と南端を決めているので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:58	北端はさっき 19 とかですか、1089 で説明してるんでしょうけど、南端のところについて、一応活断層評価上、地震動評価津波高にほぼほぼ影響してこないんですけど、
1:03:11	その
1:03:12	うん。変えなくていいのか変えるのか。
1:03:14	というところははっきりわかるようにしてくださいと。
1:03:18	これはね一応ナンバー24 の自社の測線があつ。
1:03:22	そこで決めてます。
1:03:26	で、片ヤノ方は、
1:03:29	何か具体的 2 新しい即すこっちは新しい測線ではないの。
1:03:37	何か新しい南端、そもそもトレースの位置が違いますけどね。
1:03:42	これは、
1:03:45	これは何か新しい測線なのか。
1:03:50	ちょっとそこら辺もちょっともう 1 回差分整理して、
1:03:54	総合評価プロジェクトではこうやって南端、この位置にトレースなんて決めていて、我が社はこういうデータで、この位置に、南端をきちんと止めてますというのだったら、
1:04:06	ちょっとそこら辺はナンバー24 の測線とか、それに対応するこの総合評価の方での測線とか、
1:04:13	捨う形で、止めるならと、止めが変えないなら止めを変えないっていうことを、説明し切ってくださいと。
1:04:22	はい。九州電力の徳永です。今いただいたご指摘承知いたしました。ちなみにこの南側に新しい測線等は我々も認識はしてございません。井藤大臣もこちらの方、この断層のところにつきますところの、
1:04:36	YK1 というふうに記載させていただいたこの 1 測線のみというふうに理解してございます。以上でございます。
1:04:44	はい。だから、とりあえず一応この南端側の方は何かしら新しい測線がありそうだったことはないわけですね多分冒頭で、
1:04:52	多分今回の、どんな測線が追加されたかっていうと多分東大の測線が何本かあって、
1:04:58	その 1 本がここでは、第 1 号当貸の周辺で引っかかった存在してると。はい。
1:05:05	わかりました。
1:05:08	そうする等、もうすなのでちょっとですね特にこの第 1 ゴトウ体の方もなんですけど、本当、どういう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:15	データに差分まっ
1:05:17	で、なので自社の当時の評価、
1:05:21	が引き続き、ここは整理いいんですよという説明であれば、
1:05:27	そこら辺の流れ今ですね、確認した点は整理して記載をしてくださいと。
1:05:39	ちょっとその過程でも再度ちょっとチェックはしておいていただきたいですけどあんまりこの
1:05:44	総合評価プロジェクトの方も、やっぱり異論、こういうところから参照しました要は書いてあるけど、この断層について、この測線でとか、
1:05:54	何かこの測線で判断したこういう判定基準で判断しちゃったんであんまりこう厳密に相場的には多分限界、もし今後仙台とかも含めて、御社だけじゃないんでしょうけど、
1:06:08	発電所周辺で取られた測線なんか
1:06:11	あのデータも、見てはいますよと言いつつ、それをどうやって斟酌してなのか取捨選択しちゃうのかそれも見た上で判断したのかとか、
1:06:20	そこら辺ワダを言おうがないわけですね。
1:06:24	なので一応今回ある程度、こういう文脈からするとこのデータなんかこのプロジェクトにおける長さを、一応優先して、
1:06:34	何だろう。
1:06:39	はい。
1:06:46	はい。なんでここはある種、
1:06:49	ITスケールを用いて、とりあえず連続性つなげたということなんで、そこはさすがにと行って当時の
1:06:56	この断層の評価としては、
1:06:58	当時の測線での判断をしましたと。一応ここで活断層評価のところ、
1:07:04	見直す必要性はないと。
1:07:08	いうところでの結論ですねはい。
1:07:12	ちょっとここまでのところですね。
1:07:22	ちょっと細かい話なんですけど、19 ページで、
1:07:25	ナンバー21 位は断層認定してるけど、連続性のない断層と評価しましたよっていう。
1:07:34	後でまた、
1:07:36	当時どう考えてたかっていうと、
1:07:40	ナンバー20、
1:07:42	2、22にある1から伸ばしていったところではないから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:49	連続性のない断層がここにちょこっとあるんだっていうふうに判断して一旦ってことなんですかね。
1:07:55	要するにこう、少しかう倉庫が変わってこっちに
1:07:59	行かない。
1:08:00	行く、行く可能性とかはどう考えてたのかを
1:08:04	何か考えあれば教えてください。
1:08:07	はい。九州電力の徳永です。フジイW4 につきましては、このナンバー23 の測線の断層の啓太伊井を 18 ページにつけてございます。
1:08:20	これが谷地形となつてると小西側に、こういった変位をもたらすような断層というので我々認定をしてるんですけどもこれと、同じような形態が、
1:08:30	ちょっと先ほど松江さんからもご指摘いただいているんですけどもNo. 22 の測線でも同じような形態が見えるということで、23 と 22 で見られた断層の走向はそちらに向いているだろうというふうな、
1:08:44	解釈をした上でその延長先のナンバー21 ではそれが見当たらないということでそこを止めにしてしているというものでございます。
1:08:55	ちょっとね、谷ですけど、何が違うっていう、21 と、
1:08:59	2320、22 っていうのはあるんですかね、ここ。
1:09:04	ここはないのか、それとも次々と想定させていただけたらと思います。それと何が違うんですか。
1:09:12	こちらのフジイW4 と同じような、断層の形態がNo. 22 基を見て取れると。
1:09:20	いうところで、それが 22-1 の今断層で引いてるところ辺で、同じような位置が断層の形が見えるということで 23 と 20 人を決めてそこを層厚として引いているというものでございます。で、
1:09:34	これ先ほどちょっと松江さんからも、いただいたコメントでこれをつけたつけて説明性を上げた方が間違いなくいいと思いますのでそれをつけさせていただきたいと思います。
1:09:45	21 との違いっていうのは層厚だけで言ってるっていうことでいいですか。
1:09:53	基本はその層厚を、の部分にを考慮してございますそれと、ちょっとなかなか言葉で表現はしにくいんですけども見ていただいたらわかりやすいのかなと思いますんでそれちょっとまた絵をつけさせていただければなと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:23	基本的にこの谷井の形をしてるところ辺の断層をよりも西側に断層のものが認定ができていますというものでございますので基本その内部を通っていくような断層というふうに、
1:10:37	見て取れるということでそれを断層として、遭難層厚として見ているというものでございます。
1:10:49	はい、谷です。今の考え谷との関係がちょっと違うからってということですね。
1:10:55	これ、まあまあじゃないけどついでにこの 20 の測線だとかもうその辺も、
1:11:01	出して、
1:11:03	この辺もう少しこう、
1:11:06	説明したされた方が、我々わかりやすいかなと思います。
1:11:16	九州電力の徳永です説明の充実を図りさせていただきたいと思ます。以上でございます。
1:11:30	はい。
1:11:31	よろしいですかねはい。
1:11:34	電車もちょっと
1:11:37	状況下でいうとこの後、第 1 ゴトウの北部と南部の間の中部の部分です、この中部の部分が何か個別断層みたいなものが、
1:11:48	見つかっているわけじゃないけど、一応これは海底地形図上で、
1:11:52	つなげていって、その差分ですよ。そこがちょっとちゃんとわかるようにしていただくと。
1:11:57	であれば一応、
1:11:59	このなんだ活断層評価のところで、
1:12:04	見直す必要はないという結論だということなんですね。はい。
1:12:09	さてと。
1:12:11	そうすると次が、
1:12:17	練ってって、
1:12:19	まとめ 22 ページで活断層を見直す必要がなくて、
1:12:24	その時点で基準地震動クラタ影響はないですと。
1:12:29	これ一千波ですけどそのハザードのところもう、これ今回長期評価なんで何か活動度何か確率だの、確率あんまり関係ないのか。
1:12:39	あるんですけどハザード評価上で何か使っているような、そもそもが検討地震研の
1:12:45	津波の波源と違うところなんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:48	あれ基準地震動地震動ハザードの地震ハザードの時には主要断層でもなく、その他断層の、
1:12:57	何か確率とかも微妙にいじられ、いじるっていうか関係してくるところってあるんでしたっけな。ないんでしたっけ、これ。
1:13:07	活動とか出してないのか。
1:13:10	九州電力の盛でございます。
1:13:13	地震本部のこちらの2断層につきましては、
1:13:16	地震ハザード評価上は、その他の活断層として評価しております。
1:13:21	衛藤。
1:13:22	許可の時からの評価でございますが、海域の活断層は活動度B級として評価してございまして、
1:13:29	地震本部の方でも、今回長期評価の中で、
1:13:33	活動度Bから請求ということで資料記載ございまして、基本的に活動度には衛藤へ影響はないものと考えてございます。
1:13:41	はい。すいませんこの二つのね断層だけに限ってつもりはなくて、
1:13:45	多分これまであれ九州の長期評価って基本陸域、
1:13:50	2013年でしたっけ。
1:13:52	でありますよねで今回一応海域という形で新たに手を出したので、
1:13:57	磯野海域のところについて御社が当時その他断層といって活動総社が一律Bにされていて、今回はこの二つの断層も含めてBからCって言われてるんで、
1:14:08	なので活動度Bでもともとやってたんだから、
1:14:12	それを活動度BからCと言われてる以上は見直す必要がないって、
1:14:17	そういうことですかね。
1:14:19	別に、今回この二つの断層以外にもその他断層で拾ったやつの活動度が、
1:14:25	古井高井ですと言われれば、ほとんど影響ないのかもしれないけど、一応、
1:14:29	その他の断層の活動度が見直されたっていう扱いにはなるので、よりその活動しやすい側にね、
1:14:38	はい。なんでちょっとそこら辺は、
1:14:41	電力の徳永です。今回、地震本部が出した西部区域の九つの断層の活動度につきましては、すべてBからCというふうになってございますのでその活動については先ほど盛の方からも説明がありました通りB級で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:55	評価しているということで大きな影響はないというふうに考えてございます。以上でございます。
1:15:02	はい。
1:15:03	なのであれば、一応長期評価としてはその段、あんまり30年確率なんか我々の世界からすると全く関係がないんですけど、一応活動度という意味だということのハザード評価のところでは参照参照というか、
1:15:16	これを直接参照等でしてたわけではないんですけど、
1:15:19	今回これを踏まえて、何か活動度が上がるということではないっていう。
1:15:24	であれば、
1:15:26	これは何だろう。そうか、領域な特定震源の方ですかね。そういうのを 変えることではない価格云々で、
1:15:34	活動としてはより小さい値が出てるんで、
1:15:38	何で影響ありませんとかですね。
1:15:40	あとそういうようなところは、
1:15:44	その活断層長さ、位置や長さっていう意味ではそれは当然影響がなく て、
1:15:49	当然、ただハザード評価にはそれ以外のものもあるわけで、そういった ものを長期評価で出ているわけなんで、
1:15:55	それを何かこう、
1:15:57	細々と説明して一覧にするまでもないってことだと思うので、活動度Bか らCで我が社発Bでやってるんだから、
1:16:05	それは帰り、影響はないよねっていうことが、一言でいえるのであれば、 それが書かれておいた方がいいと
1:16:11	ね。はい。
1:16:13	そういうのをちゃんと確認されてるっていうのはわかりました
1:16:16	はい。
1:16:17	では最後、
1:16:19	何で地震動評価津波評価と、
1:16:24	いうこと、
1:16:27	はい。同じ。
1:16:40	はい。24ページからかな、何
1:16:44	何でここは活断層長さとして火山層評価としては影響はないんだけど も、仮に生駒こういう形で、
1:16:53	同じような区分でやったときに、地震動評価津波評価への
1:16:57	ことで実施しましたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:00	はい。で、
1:17:01	それが、
1:17:08	はい。
1:17:09	これは一緒かな、エムデルダ
1:17:14	たでいくと、震度 5 を超えて、
1:17:17	28 ページ。
1:17:22	はい。今回そこは 28 ページを足してきたと。
1:17:32	いろいろ、
1:17:33	一応これ、そうか、卸を。
1:17:37	俺オノシマ。
1:17:39	hr一応警護断層と吉岐北東部の断層と、
1:17:45	両方に微妙に関連してくるもので、
1:17:49	28 ページでちょっと解像度あんまり良くないかな。
1:17:54	一応もともと警護断層とかを、ごくごく一部の周期でこれは層過剰やミナミに少し接近しているような、多分、
1:18:03	ものですかね。ただそれも選ばれていないので、
1:18:06	それと同じようなもの。
1:18:08	はい。
1:18:09	あと第 1 ゴトウ断層、田井ワー
1:18:14	地震動だと。
1:18:17	そうか。
1:18:19	地震動だと、この中で、28 ページで言うと、上田淳あれどれだ。津島。
1:18:27	シーマなん。
1:18:28	どっちでしたっけ、対馬南方沖南西沖だったかな。
1:18:33	が関連
1:18:35	するもの
1:18:42	なんでですね多分、もしやられるのであれば、今回、これもともと 28 ページで当時の
1:18:49	検討用地震の選定であって、
1:18:53	多分この中の、
1:18:55	藤小田島は多分、
1:18:59	警護断層と多分吉岐北東部
1:19:02	以外のものを多分取っばんだ。
1:19:05	とっばらったものなんですかねないです。竹木場城山南卸
1:19:11	家 5。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:13	き北東部
1:19:14	多分それとの、
1:19:17	比較をするとわかりやすいのかな。多分、卸パワー、ほとんど行きオク東部とあんまり変わらないし、
1:19:25	警護断層との比較良くないのか、ちょっとそこら辺、
1:19:31	何となく 28 ページの比較でわかるんだけど、第 1 ゴトウ断層体はこれ 28 ページの図だと。
1:19:39	あれ御社、この検討用地震の選定の後にどれでしたっけ、確か何か連動、
1:19:46	させた場合でも検討用地震に選定されないみたいな説明を
1:19:51	していたような、
1:19:53	気がするのですが、
1:20:00	ちょっと待ってくださいね私がイトウした。
1:20:06	もし、どれだ。
1:20:08	ちょっと待ってくださいね。何か検討 28 ページの検討地震の線ってこの図のあと 2、
1:20:14	あれ糸島
1:20:16	同士も、
1:20:18	でしたっけ半島沖断層群と日向峠。
1:20:21	うわササキ峠断層が連動した場合、これ今回と関係ないですけど、津島南西沖断層群と宇久島北西沖断層群と連動した場合の地震動の確認とかって言って、
1:20:32	確かそういう説明もされてましたよね。
1:20:38	多分津波も含めて、我が社はですよ、我が社は、
1:20:43	宇久島北西沖断層群、
1:20:46	長期評価でいうところの、
1:20:48	ことを、
1:20:50	第 1 ゴトウ。
1:20:51	田井断層群北部、
1:20:54	藤。
1:20:55	山賀市はその北にある通信は南西沖の東押切近いこれと連動させて、
1:21:00	それでもなお、検討地震選ばれるものではないの確認しております。多分それよりも、
1:21:06	長期評価で見ているような南側につなげているから多分小さいんですけど、そういうことが多分言いたいんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:15	28 ページでは、それは、
1:21:17	では全部語り切れないのであれば、
1:21:19	一応当時こういう確認をしててそれと、
1:21:23	何だろうね比較するなら、竹木場城山南
1:21:28	衛藤宇都自社でいうと津島の伴清沖断層群と宇久島等北西、
1:21:33	断層群との連動による地震。
1:21:37	そこへと。
1:21:39	29 ページの第 1 ゴトウ田井断層体この多分この 4 社を、
1:21:45	比較してそんなようなことを、
1:21:48	言いたいのか、何かそこら辺がですね、
1:21:53	よく、
1:21:55	わからんのですが、
1:22:02	静的リアノ 28 ページみたいなところに、そういえば何かこの津島南西沖と、
1:22:08	福島北西沖断層群の何か連動の話が、
1:22:11	載っていたかなと思って前回申し上げたんですけど、残念ながら 28 ページに、多分それがないんですよ。
1:22:18	ちょっとこれ、当時のどれと比較して、いやこっちの我が社の評価の方が地震動評価としても十分、
1:22:25	安全側の判断だったということが、参考で改めて確認されましたということであれば、
1:22:31	ちょっとそれ比較対象とかをもう一度考えて、
1:22:35	わかりやすくしていただくといいかと思うんですが、すみませんそちらが、
1:22:39	どう、どういう。
1:22:41	意図で、
1:22:42	この参考のところですね、説明したかったのかなというところで、ちょっと理解が違っていれば、見せ方も違うんでしょうけど、
1:22:53	何となくこの後の津波も含めて考えると、
1:23:01	当然九州電力の盛でございます。
1:23:04	現在の 28 ページ 29 ページの御説明としましては、
1:23:08	26 ページの検討フローに沿いまして、第 1 ゴトウ田井断層体それからオノシマ金海断層体ですね。
1:23:18	この二つを、
1:23:20	がMΔで、震度 5 弱以上ということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:23	5 弱程度以上として超えますので、
1:23:27	許可のときの、検討用地震。
1:23:29	との比とを比較により、基準地震動の
1:23:33	選定で検討地震の評価に影響を及ぼさないということで、塗布整理を行 っております。
1:23:40	28 ページは既許可の時の評価として、ノダの比較により、この 28 ペ ージで一番
1:23:48	赤い線ですね、竹木場断層による地震が、
1:23:51	最も応答スペクトルが大きいものでございますので、検討用地震として 選定しましたと。
1:23:57	それから途上山ミナミ断層につきましては、全周期にわたり基本的に応 答スペクトルが大きい傾向にあるんですけども、
1:24:05	キュウカキュウ化の時は破壊が敷地に向かう、
1:24:09	層厚にあるということで、イワマ南断層を検討地震と選定しておりまし て、
1:24:15	その時に西山断層体というものがこの外山南断層、
1:24:19	一部の周期でイワマなんですけども、
1:24:21	上縁はミナミ断層のように、敷地からの、とは違うちょっと敷地からの距 離が多かったり、
1:24:26	走向が、
1:24:29	倍が敷地に向かうような方向にないということから、
1:24:32	検討用地震として選定してないということをご説明しています。
1:24:36	と、今回その時評価の考え方に当てはめまして、29 ページでは、
1:24:41	オノシマ金海断層と第 1 項当貸断層について、
1:24:45	順番にこの二つと比較した結果をご説明してまして、
1:24:48	順番前後しますが、②番の第 1 ゴトウでの総体は距離が遠いので、
1:24:53	応答スペクトルがちっちゃくて影響しませんということをご説明してま す
1:24:57	それから①番の、
1:24:59	このシマ金海断層体につきましては、
1:25:02	こちらは城野南断層ですね、一部の周期でちょっと同等にはなるんです けど、
1:25:08	土岐小の時も、
1:25:09	西山断層体と同じように、
1:25:12	距離が遠いこと、それから層厚がですね。
1:25:15	敷地に向かう方向にございません。それから

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:18	西山断層体と同じような
1:25:20	層厚であるということから、
1:25:24	検討用地震として、これを長内という、
1:25:27	現状はちょっと日英と検討地震の考え方に沿った比較整理という内容となつてございます。
1:25:38	いえ、もともと御社の活断層評価上は峇岐北東部の断層群 51 キロですよね。一応、小沼の近海断層だけ一応長期評価だと 6、ほぼ似たような位置で 63 キロとなってるので、
1:25:53	それって検討用地震の選定レベルでやってるこのノダの、
1:25:59	スペクトルですよ。ここのレベルだと、ほぼほぼ同じぐらいの感度で、ただ理由としては、
1:26:06	選ばれない、或いは第 1 ゴトウ体については、多分、御社はもともと地震動のときにはこう扱っていて津波でもですけど、
1:26:15	それに比べて、
1:26:17	第 1 ゴトウ体の方は反対側に伸ばしてるから、よりちっちゃくなってるのかな。
1:26:27	いずれにせよ検討地震に選ぶべきものではないっちゃうのはわかるんですけど、
1:26:35	ちょっとこう、活断層長さの時にはいや自社の評価と、補聴器評価ではこういう差分がありますよとかって説明したのであれば、
1:26:44	その分、
1:26:45	それ同士の比較もわかるように、
1:26:49	乗つけた上で、
1:26:51	1 度に説明できないならもう 1 枚出しても結構ですけど、
1:26:56	野呂シマダと比較するべきは 1 北東部なのかな。
1:27:01	ほぼほぼスペクトルレベルでいうと同じぐらいになるのかな。
1:27:05	わかんないですけど、等価震源距離がどうなってんのか。
1:27:08	ちょっと待ってね、46。
1:27:12	うん。載せてくださいっていう話ですよ。
1:27:17	津波、
1:27:19	については、
1:27:20	これは、
1:27:24	一応、
1:27:26	26、32 で評価しましたこれもですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:31	簡単で結構ですんで、なんか一番 34 ページにいくと最後なんか基準津波ってところだけ、
1:27:38	出てくるんですけど、この検討地震と同じように、こうやってスクリーニングを、
1:27:45	してます。こういうパラスターをやってますっていうのは、
1:27:49	来てもらっていいですかねえ。パラスタ表なんかつけるとすると、
1:27:54	もともと、
1:27:56	の検討用津波、
1:27:59	簡易予測で、
1:28:01	卸近海とかあと第 1 ゴトウ代とかこの周辺でこういうものを選んでますっていうのは、
1:28:08	これも検討地震と同じように多分アベの式でスクリーニングした当時のものがありますよね。多分それと同じようなレベルになるんで、一応これも確認しますと。
1:28:18	パラスタは一応 33 ページに考え方は書いてあるんだけど、この振り幅とかも含めてですかね。
1:28:26	これはどうなってるんだ。
1:28:29	一応 33 ページでこれは当時、
1:28:33	傾斜角は横ずれでヒガシを地下ニシウチの二つを考慮すると、滑り角が、
1:28:40	0 中 2030。
1:28:44	上端深さは 0 を基本、
1:28:51	5 キロについては基本評価、
1:28:55	あれ。
1:28:57	これ一、この③を見ると 0 を基本として、
1:29:01	パラメータスタディの最大ケースについて 2.5 キロで実施。
1:29:06	2.2. 5。
1:29:09	黄色で実施と言ってるけど、34 ページ見ると、2.5 キロで実施っていうのはどれになるんですしたっけ。
1:29:18	九州電力の徳永です。こちらにつきましては他の断層まで含めて、一番チャンピオンになったものを、パラスターケースとして、2.5 キロでやってございますで、
1:29:32	すいませんこちら辺の資料が少し丁寧じゃないんですけどもともと、上縁深さ 0 キロ度同士でやった場合においても、津島南西北西の連動、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:42	と、西山断層がチャンピオンになりまして、なので、他の断層と同様にこの 2.5 キロはもともと基準津波になってます。
1:29:53	対馬と福の連動もしくは西山断層以外は実施しなくてよいと当時もやっていますのでその辺は、ここのこの二つの卸近海第 1 号等も、
1:30:04	上縁深さ 2.5 はやらずに終わったというものでございますでこれがまた読めないようになっていますので、当時の検討資料、当時の他の断層のパラメータスタディの結果もあわせて、
1:30:16	つけまして、上げそのチャンピオンには更新がないというのも明確にした上で、資料の記載を充実化させていただきたいと思います。以上でございます。
1:30:27	はい、わかりました。よろしくお願いします。はい。
1:30:30	なるほど。
1:30:31	はい。
1:30:33	うん。
1:30:36	あと、2.5 の解析をしろという意味ではなくてアノ谷参事。
1:30:41	やってないですね。
1:30:47	だから、
1:30:48	何だっけ当時残った出てたのは西山断層体と。
1:30:53	対馬ナカ
1:30:55	宗。
1:30:57	これ多分全体の中でのチャンピオンっていう意味ですよはい。
1:31:02	そうそう。
1:31:03	そう。
1:31:04	だから最初その当時の、何かパラメーター一覧をのつけようか載つけたらかなと思って多分それかなり長くなるので、この 33 ページのパラメーターの実施の考え方を、
1:31:15	載せているんだと思うんですけど。
1:31:17	これ通りにやったんだと思って見ていくと、上縁深さのところだけ、
1:31:22	このパラメータスタディの最大ケースについての 2.5 っていうのは、
1:31:27	これこの話なのか、全体の中でのキャンプなのかっていうことで、これ全体のチャンピオンなんで、
1:31:33	宗さん 14 ページのこの結果が、
1:31:37	多分、西山断層田井とか津島ああなん瀬尾沖断層、徳島保険ウダの連動これよりも下回っているので、2.5 キロケースまではやらない。
1:31:47	多分そういう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:50	はい。こちらも、
1:31:53	あんまり卸近海の断層体の方であれこれ近くの、
1:32:00	そうかこれは地震動と違って吉岐北東部は西山断層体があるからそもそもあれ県詳細検討残ってこなかったんではたっけ、あんまり比較にもならないのかな。
1:32:12	はい。そのアベの式の部分もきちんと、資料、またつけさせていただきたいと思いますけれども、溶け5断層帯域北東部の断層群、西山断層、それと津島徳の連動この四つの断層が、
1:32:26	スパミ詳細パラメータスタディ残ったと、ということなので今回の該当するところでいきますと、K5と域北東、それと津島徳の連動三つの断層が該当するというような形になると思います。
1:32:41	わかりました。はい。そうすると一応炉シマキンカン断層体と行き北東部とどのぐらいこの詳細評価の時に、感度がもうほぼほぼ、
1:32:51	同じで大して敷地に影響がありませんという感度なんだと思うんですけど、
1:32:55	その相場感だとか、或いは第1ゴトウ断層体、これは多分、より敷地に近い北側とつなげた。
1:33:03	津島南西沖断層群宇久島北西沖断層の連動の評価と、
1:33:08	一応長期評価上は、
1:33:10	一応間を、何だ。
1:33:13	変えて、地形か何かで埋めて、南側とつなげている。
1:33:18	御社でいうところの、宇久島北西B断層をより南側に延ばしたような評価をしていて、
1:33:23	それとの比較でいうと、感度は、対馬なんですよ、木田断層、福嶋沖断層群エンドウ。
1:33:30	こちらの方が大きいことを確認したと。
1:33:33	そういうことですか。はい。ちょっとそこもですね、結論として、基準地震、基準津波との大小関係、或いは先ほどの体制んと、検討地震の選定での大小関係っていうところはそうなんですけど、一応どの
1:33:49	活断層と、
1:33:51	比較して変わったのかっていう部分ではあるので、そこら辺もわかりやすくされた方がいいかなと思いますけど。
1:33:58	はい。
1:33:59	すいませんちょっと限界で時間を使い過ぎましたがほか、
1:34:04	何かありますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:13	谷です。刀禰やっぱり 12 ページの整理をちょっと気になってしまって、
1:34:24	結局、白シマシライシマですかねシライシマ沖断層体、これ既許可小さい断層として評価してたんっていうのはわかるんだけど、
1:34:35	小さい断層として、要するにもう何かスクリーニングアウトしてここ、こういう表にもう残らないような評価をしてたんだっていう、
1:34:43	なんかねその辺がよくわからなくて小さい断層として評価。
1:34:48	ていうのが、何か言葉足らずかなと思ってます。まずこれあれですよね選ぶような断層にこう物見ノミネートされていなかったってことを言いたいのか。
1:34:58	だと思うので、何か最初にあったですね流れのスクリーニング。
1:35:03	最初の
1:35:05	8 ページの、
1:35:08	ん違うか。
1:35:10	違うか。すみませんすみません。
1:35:12	8 ページ関係ないですね。
1:35:17	うん。そ、そこがね何かわかるように書いてもらえたらなって思うのと、
1:35:21	あとこの広島断層沖断層体っていうのを説明してて、敷地からの距離は層厚踏まえて幾何評価と同様に、
1:35:30	ていうって書いてるんですけど、これだから結局評価で、もうなんかこれぐらいの長さだから西山断層に評価できるって言ってただけど、これぐらいの長さだから、
1:35:40	西山断層に代表できるっていうロジックが変わらないよっていうのは、長さの観点でも何か要るのかなって、この歩この文章見て思って。
1:35:51	一方津島北方期断層っていうのはどうなのかというと、そもそもね既許可の資料を見ても、
1:35:59	菊川の資料で 80 ページにあるんですけどそうおんなじものあるか
1:36:03	10 ページがそうなんですけど、
1:36:06	これねえ。
1:36:09	これに当たる断層ってどういうものをもともと認定してたのかっていうのがよくわかんないすよこれ。
1:36:16	10 ページはそもそもこれ、
1:36:19	海上保安庁は、
1:36:22	何か水色で書いてますよね、北側に抜けるの。
1:36:27	これもっと北側までは書いていいるわけじゃない。
1:36:32	10 ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:35	津島。
1:36:36	北方沖断層、
1:36:38	に当たるようなものって、
1:36:40	ちょっと
1:36:41	意地悪な言い方をすると歩アノ宮殿はどれをもってして、この当時、
1:36:48	津島北方沖断層と、
1:36:53	があるって思ってたっていうのがですねちょっと資料見ててわからなくて、
1:37:12	はい。九州電力の徳永です。津島北方機能断層につきましては、
1:37:19	海保の部分だけになってますので、ちょっとすみませんもう一度
1:37:25	も、我々、正確にちょっと、
1:37:28	既許可のときに、どういう文献として認識、文献断層としてこれ記載、基本記載しているつもりでございますけれどももう一度確認をさせていただいて適しか、正確に
1:37:39	表現を、記載させていただきたいと思います。申し訳ありません。はい。お願いしますなんかひょっとしたらこれって介護って、ここまでしか書いてなくてそもそもの不服がここまでの範囲だったのかもしれないしなとか、或いは、ほ
1:37:54	の9、9電の中で、ここの範囲の絵を書こうっていう中で、もうここではみ出しちゃったのかもしれないとか、いろいろなところとちょっと考えて、どうなってるのかなって知りたかったと。
1:38:07	いうこと、あと津島対馬津島東水道断層ってこれ、
1:38:13	1キロ違いますよっていう話なんですけれども、この間聞いたように、同等っていうふうに考えてるのは、まあまあ、
1:38:23	資料として考えはそういうことなんですっていうのはわかったんですけども、
1:38:28	これ、
1:38:29	それでもね、何か端部ってこう違うじゃないですか、そういう端部って、こういう資料にし、してくださいとか言ってるつもりないんですけど。
1:38:39	どういうものが影響してこの端部がこうずれていくようなものと考えてるのかっていうのだけ、
1:38:46	確認さしてくださいそれ端部の設定の話なのか見ている測線が違いそうなのかとか、
1:38:52	そういうことになると思うんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:58	はい。九州電力の徳永です。当社の方でいきますと、この端部の部分につきましては、海保の測線で切りと産総研の測線を見ながら、
1:39:11	最終的に止めています。で、地震本部も、
1:39:19	先ほどのデータの整備からいきますと、産総研のデータを見ているだろうというところではあるんですけども、我々としてしっかりと、
1:39:31	後期更新世に変位変形がないという測線を確認した上で止めているんですけども、
1:39:37	それが地震本部でどう評価されて止めているかまではちょっと資料でように読めないというような今状態でございます。以上でございます。
1:39:47	うん。井谷です。えっとね、確実な答えを期待してるわけじゃなくてどういことが考えられるんかなっていうのを、知っておきたいなって思ってるんですけども。
1:39:59	測線が違うかもしれない。
1:40:01	或いは端部の決めのルールが違うかもしれない。
1:40:05	他何だったっけ。
1:40:08	他に何が。
1:40:10	そういう二つぐらいの話なんですかね。
1:40:13	はい。九州電力の徳永です。考えられる考えうるものとして、一つは情報量が違うかもしれないっていうのもう一つは、やっぱクライテリアが違うかもしれない。先進性で今回五名か5から10メートル。
1:40:28	という話もありますので、それに対して我々後期更新世以降の活動性というふうなものを見てますのでそこに何らかの違いが出ている可能性も、
1:40:39	否定はできないというものでございます。
1:40:44	はい。
1:40:46	ちょっと僕の方も頭を整理しますけどそういうものが、
1:40:50	あって影響するようなもんで1キロぐらいは、
1:40:54	同じようなもんなんだと。
1:40:58	大丈夫。
1:41:00	そういう違いがそもそもあるから、1キロぐらいは御同等なもんなんだっていうような話なのか、それともただ単に、
1:41:11	26と27なんて変わんないじゃん、この割合的にこう、何パーセント未満だからもう日程の問題って言ってるのかっていうのちょっとその辺だけ確認させてください

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:21	はい。九州電力の徳永です。我々純粹に回帰活断層評価というふうにしてはいるんですけども、今回評価している 1、倉庫を踏まえましても。玄海原子力発電所から相当な距離も、
1:41:37	あるということも踏まえまして、地震津波に対して大きな影響が出るようなギャップ 1 キロに大きな評価に影響が出るような差はないというふうに、
1:41:51	考えているというものでございます。
1:42:12	はい。
1:42:17	すいません。ウェブ参加の千田さん調整監特になれば次、仙台の方の日向多田の方に、
1:42:26	こうと思いますけど、何かありますか。
1:42:39	打田ですけども、私からは特にございません。
1:42:52	規制庁佐口ですけど。
1:42:54	もう 1 回ちょっとごめんなさい。全体通して、幾つか確認させていただきます。
1:42:59	細かいところを含めて、
1:43:01	これ
1:43:02	先ほど確認したところとちょっとかぶるかもしれないんですけど、私も、
1:43:06	ちょっとよくわからないところがあるので、まず 8 ページですね今回
1:43:11	前回のヒアリングで私確認して、ここ
1:43:15	を修正されたと。
1:43:17	ということなんですけど。
1:43:18	ごめんなさい、私修正のポイントがよくわからなくて、
1:43:23	具体的にというか、どこをどう変えられたっていうのは、何か
1:43:28	前の資料と見比べるわかるんだ
1:43:32	大きく変わったところって、
1:43:34	多分、
1:43:35	この何か
1:43:37	右の、
1:43:39	ひし形で書かれているので、スクリーニングアウト。
1:43:44	とか、
1:43:45	この辺は追加されて一番最後のところがちょっと文言が変わったかも
1:43:48	けど、
1:43:49	上の二つの資格ってこれ基本的に内容って変わってないで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:04	はい、九州電力の村上です。今ご指摘ありました、①②の考え方につきましては基本的には変更ございます
1:44:14	はい。規制庁佐口です。そうしますと、前回も確認しましたけど、このもう1回12ページとの関係で見ると、
1:44:22	これは、
1:44:24	12ページの、
1:44:27	今、選定とか抽出したものっていうのは、
1:44:30	8ページで言う、
1:44:32	どこに当たるといって、
1:44:34	01でいいんですよ
1:44:37	丸一でしかもさらに、
1:44:40	このさ、三つの断層ですね12ページで言う資格が
1:44:45	これは、
1:44:46	①の、
1:44:49	二つ目のマルの、
1:44:51	1行目の最後の方など、
1:44:53	これに全部ひっくるめられて、そういう理解でよろしい
1:44:59	はい。九州電力の徳永です。
1:45:02	んす。佐口さんのご指摘の通りで等というふうにところにちょっと包含してしまっているところでございますで、
1:45:10	ここうについてはもう少し詳しく括弧書きたいなと思ってこの括弧書きに、判断根拠の詳細を口実というような形で、後ろのページで、
1:45:20	資料の充実を図ったという位置付けにしてございます。以上でございます。
1:45:28	はい。規制庁佐口
1:45:29	で、そうすると、詳細は後述この口述はどこにあり、
1:45:38	九州電力の所です。より12ページの各園さん断層のそれぞれでどういふふうに判断したかっていうのを1個、一つ一つ、判断理由を記載したというものでございます。
1:45:55	はい。規制庁佐口です。12ページノダから上のは四角が五味のナカノ。
1:46:01	この三つの断層についてそれぞれ、こういう理由でスクリーニングアウト
1:46:07	それ、そういう理解でよろしいですね。
1:46:09	で、すると、さらによくわからないのが、
1:46:13	この3番それぞれ敷地への影響とか、
1:46:17	許可評価の影響。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:19	既許可評価ですよね。閾値への影響って書かれていますけど、
1:46:24	これって、
1:46:25	いわゆる8ページの、
1:46:27	左の敷地周辺の活断層評価という意味で、
1:46:31	どう関係してくるのか教えてもらった
1:46:34	九州電力の徳永です。もともと
1:46:39	す。ちょっと対馬北方については先ほど谷さんのご指摘も踏まえて、丁寧にもうちょっと整理した上で、後、ご説明を差し上げたいと思うんですけれども、
1:46:48	平島沖断層につきましては、もともと10ページにあります通り記載稼働の既許可の当時から文献断層としてこの断層としては、我々まずちょ収集をしたということで、
1:47:02	既存文献の調査というの中にこの収集が入ってございますその中で、そのあとに、当社として活断層評価をしていくんですけれども、その中、それにつきましては、既許可評価の、
1:47:14	の時に、発電所の敷地より、
1:47:19	より近い位置に存在する西山断層と比較して断層長さが短いということで敷地への影響は小さい断層として、評価し西山断層に代表させたと。
1:47:31	結城オカ評価がございましてそれと同様に、敷地への影響は、ニシノ断層体で代表できると今回も判断しましたというふうな記載をさせていただきます。
1:47:42	あと対馬東水道につきましては既許可等、そういうふうな表。
1:47:49	評価はしないんですけれども、冒頭ございました通り津地震動、津波も含めましても敷地の距離等も踏まえて、1キロの差分につきましては、
1:48:01	大きな影響はないだろうということを判断しましてここでスクリーニングアウトしたということでございますので知らシマ土地シマ北方につきましては既許可評価と同様な考え方を、
1:48:12	今回も、今回スクリーニングアウトに対して、照らし合わせてスクリーニングアウトしたと。
1:48:19	ということで津島比嘉水道については、市、
1:48:23	地震津波の影響をかんがみて、影響は小さいという判断をしてここでスクリーニングアウトというような当社の考え方でございます。以上でございます。
1:48:33	規制庁佐口です。やっぱり今聞いててもよくわからなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:38	御社の考えがわからないのかさ、簡単に説明が足りないだけなのかわからないんですけど、あくまで私がお聞きしたかったのは、敷地への影響というのと、
1:48:48	活断層評価の関係。
1:48:50	要は地震動として、
1:48:52	地震動評価上、影響は小さいです
1:48:55	津波評価上、影響は小さいと。
1:48:57	という話であればわかるんです
1:49:00	活断層評価と、
1:49:02	いうものと、敷地への影響この関係 8 ページで言う、左のフローとフローというんですかね、左の
1:49:11	この敷地周辺の活断層、
1:49:14	評価で震源断層に、
1:49:17	かかる調査、
1:49:19	この四角と右のフローの①のこの四角との関係。
1:49:24	これって、多分対応してないですよ。
1:49:27	という話でそこがよくわからないんですけどっていうそういう趣旨なんですけど。
1:49:31	もう 1 回確認させ
1:49:34	はい。九州電力の徳永です。佐口さんのご指摘の通り活断層評価として敷地への影響という意味では、えさもご指摘の通りかなというふうに思っていますので、
1:49:46	我々この敷地周辺の活断層評価当然この活断層をしっかりと表調査するというものもあるんですけども、
1:49:53	その評価をもって最終的に地震動津波評価を行うというところを主眼に、一部活断層評価にさその先にある地震動津波評価を少し取り入れてしまっているというような形を今とっているというものでござい。
1:50:12	はい、規制庁佐口ですけども、そうしますと昨年の 12 月に、
1:50:17	サイト違いますけど、中国電力のシマね。
1:50:20	で、同じようなこと
1:50:22	をしたと思い
1:50:23	その後、
1:50:24	介護て、
1:50:25	まずご覧いただいて、どういところが最終的に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:30	少しコメントが出たとか、あと中国電力がどういう流れで評価をしていて、それが、特に既許可の評価ともどういう関係にあるのか。
1:50:42	そういうことで確認されて、
1:50:45	はい、九州電力の徳永です。中国電力さんの資料、会合等を見させていただいてますんで、冒頭す、次、活断層評価をすると、に当たります。先にMでルターでスクリーニングをかけて敷地に影響のある断層を、
1:51:00	抽出された上でその断層を評価されているということで、もうかなり先にスクリーニングがもう多く入っているというふうな我々理解をさせていただきます。で、
1:51:10	我々としては、活断層評価として今回公表された9断層については、基本は、この活断層を我々の評価と対比させていくというふうなスタンスで整理させていただいてはいるんですけども、
1:51:23	この2断層につきましては、他の断層で代表できたり地震津波の最終的に評価するにあたってそこら辺の
1:51:32	ことを考慮して、影響を小さいだろうというのを少し織り先行織り込みしてしまっているんですけどもそういった考えを少し導入して、
1:51:43	少し簡略化しているというものでございます。以上でございます。
1:51:51	はい。規制庁佐口
1:51:53	多分おそらくその簡略化しているところがどうなの
1:51:56	これ多分、
1:51:58	我々が12月の会合の、
1:52:00	最後に中国電力に求めんだったのは、まず敷地周辺の地質地質構造
1:52:08	これに対して、
1:52:10	この長期評価っていうのはどういう、
1:52:13	その上で、それ、それらが、
1:52:17	例えば、
1:52:18	活断層評価を、
1:52:21	見直すようなものがあるんだったらそれについて、
1:52:25	地震動評価
1:52:26	それから津波評価でどうなるのかっていう、結局その辺の、
1:52:30	論理構成だったり、
1:52:32	いうのをきちんと、
1:52:38	最終的にまとめて、
1:52:39	くださいと。
1:52:41	コメントをしますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:43	そういう観点で、もう1回今、
1:52:46	見ていただいて本当にそういうような資料の作り方になっているのかって いうのをまず確認をしていただきたいっていうのが、
1:52:55	もちろん最初に、
1:52:56	もともと、こんな遠くにあって、しかもその短いので、
1:53:02	地震動評価上とか、
1:53:04	それから津波評価上、これもうもともと影響がないんですよという話が 最初にあった上で、
1:53:11	こういう話を、
1:53:12	されて、
1:53:14	行くんだったらわからなくもないんですけど、
1:53:18	いきなり
1:53:19	8 ページでこうやりMaaS
1:53:21	で12 ページでこうですって言われて、
1:53:24	結局、
1:53:25	はじいたものって、
1:53:27	長さってどうなっちゃったんですかって言うと、
1:53:30	実は長期評価だと、その
1:53:32	評価の評価より、
1:53:34	このはじいたものを、
1:53:36	長澤長くなっているものもあるわけ
1:53:40	でそれに対して、いや、
1:53:42	長くなっちはいるんですけど、長期評価上は、それは、
1:53:47	他のところで見ているように、より新しいデータなんかや詳細なデータを使 って、
1:53:53	九州電力としては、こうじゃなくて、企業の評価が、
1:53:58	の方が正しいんですっていう説明をするのか。
1:54:01	いや、そうじゃなくてやっぱりデータがないんでこれは長期評価。
1:54:05	農政として、
1:54:08	断層の長さが、
1:54:09	長くなったことも踏まえて、地震動評価上とか、津波評価上、
1:54:16	影響があるのかないのかっていうのを確認しますとかそういう流れなの か。
1:54:21	でも、今回の少なくとも資料のつくりは、活断層評価上は一切見直すよ うなものはないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:29	なので地震動評価も、津波評価も、あくまでもこれ参考では示しては すけど、基本的にはこれやる必要がないんですよ、そういう説明ですよ
1:54:39	ということであれば、
1:54:41	まず今のまとめのところまでは、
1:54:44	しっかりですね、論理構造含めて、
1:54:47	資料を作っていたかかないと。
1:54:50	手続きになるので、それだけは我々ちょっと避けたいので、
1:54:53	そこはよろしく願い。
1:54:55	したいと思い
1:54:56	ね。
1:54:57	ちょっと、
1:54:57	細かいこと言いますけど、
1:55:00	さっきちょっと出たのかな。
1:55:02	14 ページでこれはもうちょっと教えてくださいって話になるんですけど。
1:55:06	一番最初に、
1:55:10	地震本部はっていうところで、
1:55:12	地質調査部門、
1:55:15	音波探査記録をもとに評価していると。
1:55:18	考えられる。
1:55:19	けど、
1:55:20	これ具体的に、
1:55:22	調査上の音波記録
1:55:24	をもとに評価してるみたいな記載はあるんですかそれとも、あくまでもこ れ御社としての推測なんです
1:55:32	はい。九州電力の徳永です。先ほど少し鈴木さんともお話、ご議論させ ていただいたんですけども、この茂呂シマ金海断層の評価分のところ で、直接何のデータを用いて評価したというのを、記載はありません。
1:55:48	で、5 ページ目、6 ページ目に記載してます。地震本部が引用したデー タ並びに長期評価に用いた主な反射法地震探査測線、
1:55:58	っていうのが、次本文に記載されている文章をそのまま引用して、転記 したような形で記載をしているんですけども、
1:56:06	今回、このオノシマ金海断層付近で用いたデータっていうのは、こちら 照らし合わせると、産総研データではなかろうかというふうに思って、 我々として考えたということ考えられるというふうにしてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:25	はい。規制庁宗です。わかりました。なので結局ここはこういうふうの評価していますという、
1:56:34	記載をそのまま引っ張ってきているのであれば、そのまま
1:56:41	の記載で当然いいわけ
1:56:44	けど、
1:56:44	ちょっとそこがはっきりしない部分もあるので今は考えられる。
1:56:50	という程度に、
1:56:51	記載はしている、そういう理解。
1:56:59	それで、他にもいろいろ確認ありましたが、ちょっと19ページで、
1:57:09	なんでしたっけ
1:57:12	別の断層と評価している、二つ目ですね。
1:57:16	なんですけど、
1:57:19	これは多分、その前の
1:57:22	基本的には、この連続性のない断層と認定ってあるんですけど、これは、
1:57:27	当時の
1:57:29	資料
1:57:30	多分いつの資料って書いてないんですけど、当時の資料もこういうような形で示され、
1:57:36	かどうかっていうのは
1:57:38	セトも今回後付でこういう
1:57:40	文言を出したの。
1:57:43	はい。九州電力の徳永です。
1:57:47	再稼働の時にですね、ご提示させていただいた測線につきましては机上配付資料でフジイW2ーミナミ側の測線までですね、フジイW34の測線は、机上配布資料としてご提示はしてございません。
1:58:01	ただ、このフジイW4の、この断面につきましては再稼働の当時に評価した報告書からそのまま持ってきてますので、今回新しく評価を入れたとか、
1:58:12	そういうものではなくて、昔のその当時の報告書のデータをそのままつけているというものでございます。なので今回新しく何か評価を入れたとかそういうものではございません。
1:58:23	はい、規制庁佐口イセわかりました。なので、ちょっとこういうアノ断面とか、何か少なくとも、以前に
1:58:32	ちゃんとした公開をされているような資料で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:36	さらに示していて今回その
1:58:39	それを改めて示すのであれば、
1:58:43	その出典じゃないんですけど、いつもどういう資料ですよっていうのはわかるようにそれは、確実にしてくださいっていうのと、
1:58:51	結局ですね、19 ページとかで、
1:58:55	左の図でありますけど、これちょっと私凡例が気になっていて、
1:58:59	連続性のある断層等連続性のない断層って、何か長さが違うだけで、
1:59:05	おんなじ赤と黒、
1:59:07	後程半分半分したような表示。
1:59:10	おんなじだと。
1:59:12	じゃあ、今のこの 19 ページにある連続性のない断層と言われるものっていうのは、
1:59:18	左の断層分布図には
1:59:21	それと美馬千賀
1:59:22	栗栖。
1:59:29	はい。九州電力の徳永です。こちら、
1:59:33	ちょっと確認をいたしますが、入ってないと思われまますのでちょっと確認をさせていただきたいと思います。
1:59:42	はい。
1:59:44	そういったですね表示の仕方も含めて
1:59:49	少なくともエビデンスとなるものは、いつの会合とか、いつのこういった公開資料。
1:59:56	のどの部分に示されている。
1:59:58	っていうのは、まずそれは確実に、
2:00:01	示していただきたいのと、
2:00:04	うん。やっぱり判例が、
2:00:08	これそう書いてるのに、
2:00:10	そう書いてないんだけど、でも、右の断面図の方には何かそういう文言があるっていうのも、それは整合性が本当にとれているのかどうか。
2:00:18	そこはちょっと確認をした
2:00:20	とりあえず良い情報
2:00:23	はい、承知いたしました。
2:00:32	谷です。
2:00:33	ちょっとねさっきの確認の。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:36	をして考えて思ったんですけど、そのなんか若干その違いが出るのは、 クライテリアのようなものもあるんだという話をさっき聞いたんですけど。
2:00:49	そもそもですけど、この長期評価の層序地質の層序なんかの旧だと か、九州、なんか 9192 だとかPとか、そういう河内層の境界って、
2:01:01	幾つかこう、
2:01:03	出てたと思うんですけど、そういうものとその時代感と、九州電力の評 価自体は層序の観点からは、
2:01:12	違うようなものはなかった。
2:01:14	そういう確認って今、
2:01:17	言ってます。
2:01:21	もしねその辺がね確か、多分細かい話はできないんだと思うんですけ れども、層序の観点からは、何か大きな違いはないんだとかいうのが、
2:01:31	確認してあるんであるば何かどっかでこうなんか、
2:01:35	言っておくと、
2:01:39	何かいいのかなと思ったんですけども。
2:01:42	ちょっとこれ感想見てめいたことなので、
2:01:46	はい。はい。九州電力の徳永です。評価分譲P層とか 9 層、鮮新世とか 後期、
2:01:55	前期更新統以降だったかな。
2:01:58	というのは表現があるんですけどどこの測線を見てそれを言われてる かっていうのが、いや、いや、なかなか我々も完全に掴みきれてないとい うのでちょっとわかり、なかなか我々の対比とうまくこう整合をきちんと 取れてるかどうかっていうのが今、私の方でもわかっ。
2:02:14	以外というのが今の現状でございます。ちょっと確認をさせていただけ ればと思います
2:02:21	はい確認した結果、別にし、資料までしなくていいんですけどマージして おくことは、
2:02:29	どんな状況だったかっていうのを教えてもらえたらと思います。
2:02:40	はい、よろしいですかね。
2:02:43	そしたらば、ちょっと時間も押してはいるんですけど簡単でけん。まず、 今度あれすか仙台の日向灘。
2:02:52	南西諸島、こちらの小松委員会から、
2:02:56	修正した点、中心に説明をしてください。
2:03:04	はい。九州電力の村上です。
2:03:07	資料番号TTSの 3 号に基づきまして、仙台の方の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:12	詰めを、前回ヒアリングからの変更
2:03:15	審議させていただく。
2:03:19	2 ページ目をお願いします。
2:03:22	こちらに目次示しておりますけれども、前回ヒアリングに行って、ご指摘いただきました。
2:03:28	点を踏まえて、
2:03:29	既許可評価への影響確認の方針、
2:03:33	それから、地震動評価及び津波評価への影響確認に関する内容を充実化させる形で資料を再構成してください。
2:03:45	3 ページをお願いします、
2:03:47	こちらから、地震本部による長期評価の概要に、
2:03:52	なります。
2:03:52	4 ページをお願いします。
2:03:55	こちら、第 2 版の概要を掲載しておりますけれども、こちら前回ヒアリングから変更点はございません。
2:04:03	5 ページをお願いします、
2:04:05	こちらの内容も、前回のヒアリングにてお示ししてる内容で、ちょっと順番を変えている。
2:04:12	もので、内容的な変更としてはございません。
2:04:15	6 ページをお願いします
2:04:18	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえまして結局評価への影響を我々がどういう視点で確認するのか
2:04:25	いう方針を先にご説明する形で資料再構成してございます。
2:04:31	7 ページをお願いします、
2:04:34	まず、地震動評価への影響確認の方針です
2:04:38	まず一つ目としまして、
2:04:40	結局評価における地震動評価では、気象庁カタログ等を用いて、敷地、
2:04:46	周辺の被害地震を整理した上で、諸般の被害地震が、既許可の整理に含まれることを確認しており、初版は直接的には参照してごさい
2:04:58	第 2 版におきましては、被害地震から、被害地震が初版から変更されているという点を踏まえまして、第 2 班における被害地震を各
2:05:07	市、
2:05:08	プレート間、
2:05:09	及び海洋プレート内地震の評価に影響がないということを確認すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:14	としてごさい
2:05:16	次に二つ目、bとしまして、
2:05:18	評価評価における、免震構造施設設計要件地震動の評価、以下長周期
2:05:24	体の地震動評価
2:05:26	というふうに言いますけれども、
2:05:28	こちらでは、南海トラフや琉球海溝における、M9 クラスのプレート間地震の震源パラメーターを内閣府に 012 を基に設定して評価しておりますので、
2:05:40	ご飯はサンクションしてございません。
2:05:42	第 2 版におきましては、評価対象領域の見直しや、地震規模が
2:05:47	再編されておりますので、
2:05:49	長周期体の地震動評価への影響を確認す
2:05:52	というふうにしてございます。
2:05:54	8 ページをお願いします。
2:05:56	次に津波評価への影響確認の方針
2:06:00	まず一つ目として一つ目としまして、
2:06:03	許可評価における津波評価のうち、琉球海溝のプレート間地震の評価におきましては、
2:06:08	過去の巨大地震の整理等諸般を一部参照している箇所がございますので、諸般の参照先について、第 2 版の内容を確認し、駅強化評価への影響確認を行うことと。
2:06:20	してございます。
2:06:22	次に二つ目Bとしまして、
2:06:24	今回、初版から評価対象領域の見直しや、地震規模が再編されておりますので、こちらについても既許可評価への影響確認を行うこととしてごさい
2:06:36	9 ページをお願いし
2:06:39	ここから第 2 版における初版からの変更点を整理してございます。
2:06:45	10 ページ。
2:06:47	11 ページ、12 ページにつきましては、前回資料から変更ございませんので詳細割愛させていただきます。
2:06:54	13 ページをお願いします。
2:06:57	13 ページから 14 ページに、前回ヒアリングからの追加としまして、初版から第 2 班における被害地震の変更について整理してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:08	表の左側に初版を右側に第2版を整理しておりますけれども、
2:07:13	初版の欄に、
2:07:14	バーと表示しているものに対し、右側の第2版にて、発生日、受振規模、こちらを記載しているものが、今回第2版で追加された地震でございます
2:07:26	14ページをお願いします。こちら13ページの続きで表の内容としては、さっき、今申し上げた通りでございます。
2:07:34	15ページをお願いします。
2:07:37	ここから地震動評価への影響について、先ほど申し上げましたA、B、二つの視点でご説明いたします。
2:07:46	16ページをお願いします。
2:07:48	こちらは前回ヒアリング資料でも、過去の審査会合資料の抜粋を掲載しておりましたが、一部わかりにくい点がございましたので、資料の構成を見直しております
2:08:00	内容としましては、前回へ
2:08:02	ヒアリングと。
2:08:04	同じ御説明になりますが、
2:08:07	既許可評価では、被害地震を基にしたエムデルダ図による検討の結果、
2:08:12	プレート間地震、
2:08:14	及び海洋プレート内地震で最大規模の地震である。
2:08:17	1662年中が大隅の地震及び1909年、宮崎県西部の地震。
2:08:24	これらが敷地に影響を及ぼす。
2:08:27	震度5弱程度以上の地震ではなく、敷地周辺の活断層による地震の影響が大きいということを確認しております
2:08:36	17ページをお願いし
2:08:38	こちらには、参考として、敷地周辺の活断層から想定される地震を対象に、
2:08:44	MΔ図で整理した既許可資料を掲載してください。
2:08:49	18ページをお願いします。
2:08:52	既許可評価における地震動評価では、
2:08:57	先ほどご説明した通り、敷地周辺の被害地震、日本被害地震総覧、
2:09:02	茅野宇津カタログ、気象庁による地震年報を整理した上で、
2:09:06	諸般の被害地震が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:08	既許可の整理に包含されることを確認しており、初版は直接的には参照してございません。
2:09:14	第2版の被害地震
2:09:16	では、敷地から200程度、200キロメートル程度の範囲において、いずれも許可時から外地震として考慮しておりますけれども、こちらの表に示している通り、
2:09:28	既許可時に考慮している諸元とは、一部差異がある。
2:09:31	ので、
2:09:32	機構の評価と同様に、MΔ図を用いて敷地への影響を確認してごさい。
2:09:39	その結果について、
2:09:40	次ページ以降にてご説明いたし、
2:09:44	19ページをお願いし
2:09:47	第2版の敷地から200キロメートル程度以内にある被害地震に対して、既許可評価と同様に、MΔ図を用いて検討を実施してごさい
2:09:58	右側に示す図中の赤い丸が、
2:10:01	第2版による被害地震をプロットしたものになりますが、
2:10:05	その震度は、5弱程度以上とは推定されず、
2:10:09	プレート間で、
2:10:10	及び、
2:10:11	ファイアプレート内地震は、既許可評価と同様に影響がないと。
2:10:15	いうことを確認してごさい
2:10:17	20ページをお願いし、
2:10:21	次に、評価対象領域の見直しや、地震規模再編による長周期体の地震動評価への
2:10:27	営業確認のうち、南海トラフを対象とした地震についてご説明いたし
2:10:33	結局評価では内閣府による南海トラフの地震、
2:10:36	Mw9.0の震源モデルのうち、陸側ケースの、
2:10:41	日向灘域及び、
2:10:43	南海木野宣言モデルを用いて南海トラフの巨大地震による、
2:10:47	応答スペクトルが基準地震動を大きく下回るということを確認してごさい
2:10:53	この評価に用いた震源パラメーターを、このページに示しておりますが、
2:10:58	内閣府に012で用いられてる値を、
2:11:01	使用しているため、第2版による影響はございません。
2:11:06	21ページをお願いし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:09	こちらは、20 ページの続きとなりますが、
2:11:13	菊下表風における南海トラフによる、
2:11:16	の結果
2:11:17	評価結果を示しております。
2:11:19	強化評価では、南海トラフのプレート間地震による応答スペクトルが、 基準地震動Ss1 を下回っていることを、
2:11:27	してございます。
2:11:29	22 ページをお願いします。
2:11:32	次に、評価対象領域の見直しや、地震規模再編による中長周期体の地震動評価への影響確認のうち、琉球海溝を対象とした地震についてご説明いたし、
2:11:44	寄港日強化評価では、津波評価にも追加し、波源モデルを参考に、琉球海溝の北部から中部による地震群 9.1 について地震動評価を行い、
2:11:55	琉球海溝北部から中部による地震ラブル給電 1 による応答スペクトルが基準地震動を大きく下回るということを確認してございます
2:12:05	こちら、この評価に基づいた震源パラメーターをこのページに示しておりますが、
2:12:10	内閣府 2012 のパラメータ設定方法を参考に設定しているため、第 2 版による影響はございません。
2:12:19	23 ページをお願いし
2:12:22	こちらは 22。
2:12:24	2 ページの続きとなりますが、既許可図における琉球海溝北部から中部による地震の評価結果でございます
2:12:31	評価評価で、琉球海溝北部から中部、
2:12:34	による地震の応答スペクトルが基準地震動Ss1 を下回っていることを確認しており
2:12:44	24 ページをお願いする
2:12:46	ここから津波評価への影響について、冒頭申し上げました。
2:12:52	B、二つの視点でご説明いたします
2:12:55	25 ページをお願いします。
2:12:58	まず結局評価において、初版を参照した箇所の影響確認のうち、地震履歴について、
2:13:05	ご説明いたし、
2:13:07	結局評価では、こちらに示している通り、南海トラフから琉球海溝における固着域の検討の際に、地震履歴に関する情報を整理しており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:17	1771 年野谷山地
2:13:20	1911 年の比嘉江島地震の 2 地震を初版から参照してください
2:13:26	第 2 版におきましては、これら 2 地震の記載に変更がないこと。
2:13:30	また、新たな巨大地震の追加もありませんので、駅強化評価への影響はございません。
2:13:38	26 ページをお願いします
2:13:42	次に既許可評価において初版を参照した箇所の影響確認のうち、海溝軸の設定についてご説明いたし
2:13:50	評価評価ではこちらに示しております通り、琉球海溝領域のプレート面形状のうち、海溝軸について、初版を参照し設定してください
2:14:00	第 2 版におきましては、地震本部が新たに設定した海溝軸がございませんので、既許可評価への影響はございません。
2:14:09	27 ページをお願いします、
2:14:13	次に、初版からの主な変更点に対する既許可評価への影響確認のうち、南海トラフを対象とした津波評価についてご説明いたし
2:14:23	こちらにつきましては、前回ヒアリングからの変更点はなく、
2:14:27	評価評価で用いた内閣府と第 2 版のモデルを比較した結果、相違がないことを確認してください
2:14:35	また、結局評価で設定した地震規模は、日向灘を含む南海トラフ、Mw 9.1 であることから、
2:14:42	今回公表されました日向灘の巨大児
2:14:45	タグチ 8 程度を上回る規模として考慮をして、
2:14:51	28 ページをお願いします、
2:14:54	次に、初版からの変更点に対する既許可評価への影響確認のうち、
2:14:59	琉球海溝を対象とした津波評価についてご説明いたし
2:15:04	ここの 28 ページから 30 ページには、
2:15:07	第 2 班における、地震規模や、評価対象領域に対する、
2:15:12	影響確認について記載しておりますけれども、こちらは前回ヒアリングでご説明した内容から、
2:15:18	変更ありませんので、
2:15:19	詳細は割愛いたしますが、
2:15:22	いずれにつきましても、結局評価への影響がないこと
2:15:25	ないということを確認してございます
2:15:30	31 ページをお願いします、
2:15:32	最後にこれまでの説明のまとめ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:35	32 ページをお願いします。
2:15:39	今回地震本部が公表しました長期評価について、第 1 版から第一波諸般からの変更点を整理した上で、川内原子力発電所の
2:15:49	工事の地震動評価及び津波評価への影響確認。
2:15:54	影響確認を行いました
2:15:56	地震動評価につきましては、第 2 版による被害地震の変更を踏まえ、企画、
2:16:01	許可と同様に、
2:16:02	モデル雑を用いて検討した結果、プレート間、プレート内地震の評価に影響がないことから、既許可の地震動評価への影響はございます
2:16:11	また、長周期体の地震動評価につきまして
2:16:15	でも、結局評価では内閣府に基づき、
2:16:19	第 2 版を上回る規模を考慮した評価を実施しておりますので、それも改定に伴う影響はございません。
2:16:25	なお、確率論的地震ハザード評価への影響につきましては、
2:16:30	既許可評価では、敷地に影響の大きい内陸地殻内地震を対象としており、諸般の知見は引用しておりませんので、
2:16:37	ハザード評価への影響もございます
2:16:42	次に、津波評価についてですが、
2:16:44	評価評価にて、初版を参照した箇所について、
2:16:48	第 2 版の内容を確認したところ、参照した巨大地震の、
2:16:52	心理的に変更がない子
2:16:54	また、開口事件についても、地震本部が新たに設定したものはないことから、第 2 版による影響はございません。
2:17:02	プレート間地震につきましては、第 2 版を上回る規模を考慮していると
2:17:06	また改定に伴い、変更拡大された評価対象領域についても、既許可で考慮済みの範囲であることから、
2:17:13	津波伝播特性にも影響はありません。
2:17:18	なお、プレート内地震については、プレート間地震と比較し、影響が小さいことから、第 2 版による影響はございません。
2:17:27	また、確率論的津波ハザード評価への影響につきましては、
2:17:30	既許可評価では、土木学会等を参照し、評価しておりますので、
2:17:36	諸般の
2:17:37	知見は引用しておらず、ハザード評価への影響もないというふうに考えてござい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:43	以上より、今回地震本部が公表した長期償還に対する、
2:17:49	川内原子力発電所の既許可評価への影響はないということを確認して ごさい
2:17:56	33 ページをお願いし、
2:18:00	長期償還に対する説明は以上となりますけれども、
2:18:03	昨年 12 月に産総研から出されております。
2:18:07	野間梅崎沖海底地質図についても、前回のヒアリングを踏まえ、
2:18:12	一部資料内容の見直しを行っておりますので、ご説明いたし
2:18:16	参与 14 ページをお願いします。
2:18:19	こちらの地質図には変更はございません。
2:18:23	35 ページをお願いし
2:18:27	こちらには、産総研が使用したデータと、当社が既許可評価時に使用し たデータを整理しておりますけれども、こちらも前回ヒアリングからの変 更はございません。
2:18:38	36 ページをお願いし
2:18:41	前回ヒアリングからの変更点としまして、36 ページに、
2:18:46	敷地前面海域における産総研及び当社の断層分布図を、
2:18:51	37 ページに、産総研が言いました探査測線と、当社が、
2:18:56	評価評価で用いた主な探査測線との比較を示しており
2:19:01	36 ページの断層分布図を見ていただきますと、両者の評価に相違はあ りますけれども、
2:19:08	35 ページに記載の通り、
2:19:11	当社の評価では、産総研がしよ
2:19:14	使用したデータを考慮していること。
2:19:17	また、当社の探査測線は、より三つで、かつ、
2:19:22	高分解能な記録がえられていることから、
2:19:26	今回公表された産総研の海底地質を踏まえても、当社の評価に影響は ないというふうに判断してごさいます
2:19:35	説明は以上です。
2:19:41	はい説明ありがとうございます。こちらも前回からの、
2:19:48	一部修正ということではあるんですけど、
2:19:51	ちょっとこちらですね、話の流れからすると、
2:19:56	今、4 ページ 5 ページは長期評価の
2:20:01	概要で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:04	これはこれ前回からの長期評価の概要自体は変わらないんですけど、ただ、この説明を聞いていくとまず長期評価の概要で、こういうところが主な変更点としてあるのか。
2:20:16	従って、7 ページから、こういうことを確認していかなきゃいけないんだって話としては繋がる本来繋がるはずなんですけど、
2:20:24	今、この 5 ページまでを見た上で、何か 7 ページを見ると、
2:20:30	私は当然確認しなきゃいけないのは、まず、
2:20:34	地震動としては、
2:20:36	一応被害地震との関係で、プレート間プレート内、歌謡プレート内は、その許可のときには、
2:20:43	もう詳細検討入りませんよと言って、スクリーンアウトしてるんですよね。
2:20:47	そこの部分を、何か確認しますと言ってらるんだけど、5 ページまで見ても、そのことは何も、
2:20:54	一切予見性を持って書いていなくて突如 7 ページになると。
2:20:58	約省庁カタログを用いて被害地震を整理した上でとかっていうのが出てきて、あれこれ長期評価と何の関係があったんだったっけという、
2:21:06	いうにイエイ見えませんか。
2:21:10	ことなんですけど。
2:21:11	メインとしては主な変更点はこういう地震規模、
2:21:16	の設定みたいなものだと思うんですけど、一応その他このために、一応被害地震を整理されて、
2:21:23	いるんです。だから、被害地震として新しい何か情報があって、
2:21:28	これプレート間、海洋プレート内を、これ、
2:21:32	引き続きオミットしたままで、
2:21:35	それは影響オミットしたままっていうのは影響ないですよっていうのをまず確認して、それが確認できたんで、地震動は、後は以上終わり。
2:21:44	と、そういう多分流れなんですよ。であれば、まずその
2:21:48	状況下でこういうものが出た、こういうところが新しい。だから、こういうことを確認するっていうのは、
2:21:54	一応話が繋がるように、まずしてもらえませんかという、
2:21:58	ことなんですけどね。
2:22:00	はい。ということがありますかね。多分 4 ページ 5 ページ見ても、なぜ地震動の確認で、このをきちんと被害地震、
2:22:08	のところで比木オミットしてる、黒川りませんっていう説明が、
2:22:12	なされるのががですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:14	この間が繋がらないんです。今回その被害地震の整理されたのはそれは結構なんですけど、
2:22:25	九州電力の野村です。今ご指摘のところなんですけれども、今概要見ても被害地震の変更点について言及がないというところだと思いますので、
2:22:35	江藤、そもそも第2版のところで被害地震がこういう変更点があって、それに対して地震動の方はこういう評価をしますというような話が繋がるように、整理し直したいと思います。
2:22:50	うん。
2:22:51	なんで、そんなに初版からの変更点の何か、主立ったその重要な部分ではないので、この他みたいなことだと思いますけど、
2:23:01	5ページのところにもう1個まで出すんですかね。
2:23:04	この他っていう。
2:23:06	その上でですよ。
2:23:10	長伴。
2:23:15	B。
2:23:21	はい。はい。ちょっとまずじゃ7ページのところ(エ)
2:23:28	既許可評価では、気象庁カタログどうも事業主従って、
2:23:33	諸般の被害地震が許可の整理に含まれていることを確認って言うてるのこれ既許可のときにも何かそういう書き、
2:23:40	Bで、
2:23:42	何かせよ資料としては書いてあったんですけど。字づらを見ると許可のときに、気象庁カタログ等を用いて整理して、既許可のときに、第1版初版の
2:23:54	ものの突き合わせをして、
2:23:58	です。含まれているものを、
2:24:01	確認しているっていうのは、ここは事実として正しいんですけど。
2:24:08	九州電力の野村です。藤清岡の資料につきましてはこの第1、諸般の内容、諸般の被害地震がすべて含まれているという、
2:24:20	記載をした部分はないかと思うんですけれども、そもそも初版が出る初版が出た後に許可の申請をしておりますので、その時期時点で、
2:24:33	当然確認する、知見というか、知見として、確認して諸般の被害地震をすべてカタログで網羅できているということは確認していると。
2:24:43	ということになります。
2:24:47	御社の中の話なので、今やられていたわけですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:52	はい。別にその当時の資料に明言はされていないけどやられていたと。
2:24:56	はい。
2:24:58	で、今回第2版が出て、その第2版が、もともと、この間の新しい、新しい知見も踏まえてるんで確認しますと。
2:25:06	はい。
2:25:07	まず地震動については、まず敷地周辺の被害地震があって、これをMLたで、
2:25:16	震度5弱程度と推定されないのでプレート間プレート内の表は、
2:25:22	これは、
2:25:23	詳細には評価しないと活断層の評価の方で、
2:25:27	検討地震の件、以降、それで代表させますと、そこに違いがありませんかと。
2:25:34	いうのを確認。
2:25:35	そこでスクリーンアウトできれば、相川一緒、一切やる必要がないのでという、
2:25:40	ことで、
2:25:41	まずそこを端的に確認しに行きましたと。
2:25:44	それが16ページから、
2:25:49	どうしてもね10ページから11ページこれは致し方ないんですけど、
2:25:55	13ページからが関連する部分ですよこれ左が初版で右が、
2:26:03	第2版ということ
2:26:06	動作動作。
2:26:07	今回は13ページは、1個2個、3個三つかな。
2:26:13	新しくM7.8とか、Bをちょっと規模が大きいものが出されたり、
2:26:18	14ページ見見ると、大半は、
2:26:23	これちょっと数は細かいやつですけど数は出てきたと。
2:26:28	でない逆に第2版では、何か評価がなくなったものもあります。
2:26:31	ということはこれがベースにあって、
2:26:35	16ページは、
2:26:37	これは許可の当時の、
2:26:42	こうです。
2:26:43	17ページは、これは、
2:26:47	参考と1、
2:26:49	てるんだけど、
2:26:51	何が違うかという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:55	何だこれ。へえ。
2:26:58	16 ページは敷地周辺の被害にし、
2:27:06	16 ページって 17 ページも、
2:27:11	これあれか、これは被害実施。
2:27:15	ない。
2:27:17	揺れを想定。
2:27:23	すいません、これを 17 ページまでをこう入れられた人ってこれなんですかね、何かこの話の中だと。
2:27:31	被害地震被害地震との関係で、
2:27:35	引き続きプレート間プレート内は検討するがいないんですよって説明をしたいんですよね。この 17 ページって何で、何をこれで言いたいんですしたっけ。
2:27:49	九州電力の盛でございます。17 ページは、
2:27:54	川内原子力発電所周辺の活断層の影響が支配的ですよってことを参考で、エムデルダ図でによる、
2:28:02	周辺の活断層の比較図を入れてございます。
2:28:05	16 ページで
2:28:08	被害、プレート間地震ですとか海洋プレート内地震というのは、震度 5 弱程度と。
2:28:14	異常と推定されませんと。
2:28:15	17 ページでは敷地周辺の活断層は、
2:28:19	例えばエムデルダ図で①番⑨番ですとか⑩番というふうに図示されますけどこちらの検討用地震なり、なりますけど、
2:28:29	こちらのように明らかにその活断層が支配的ですよというところを参考でお示ししてございます。
2:28:39	いや単純に、
2:28:42	当然先ほどもう限界でもありましたけど、いや活断層評価、
2:28:46	のところでどう整理してとか、
2:28:48	地震動評価のところでもそうで検討地震で落ちるレベルなんですとかってこう段階があるわけじゃないですかそれぞれ項目。
2:28:55	今回一応すいません被害地震を基にした検討で、海洋プレート内プレート間はこれは影響が小さいで言い切れました。当時、今回もそれが引き続き切れまして、
2:29:08	いう話の中で、
2:29:11	これって敷地上の主な活断層から想定される地震って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:16	何かそのつももうワンステップつつか次の話。
2:29:21	のようなヒガシで、それをここで何かモンマ持ち出してってところの意図が何もありませんよ。
2:29:29	いや何か見せたいものがあるんだったら、こういうことを説明したいからここも参考で示しますっていうのを書かないと、何か図だけついていて、
2:29:37	これって、
2:29:39	何か血話としては違うようなものだと思うんだけど、
2:29:43	何か、
2:29:45	参考とかっていつて図だけが本当時の資料がボーンと出て、これで、
2:29:49	内容を説明したいのかを書いてくれないと、
2:29:52	わからないしあまりいいなんていうか、
2:29:55	次の被害地震とは関係ない次のステップなら、あまり要らないんじゃないかという気もするんですけど。
2:30:00	ちょっと当時のものをベタベタ貼るときに、何か意図がわからないままつけるというのはやめた方がいいですよ。
2:30:08	いうことではどうしても必要なんだったら、何かこういうことを説明したいからこういうことを示せるんだ。
2:30:13	こういうことがわかるんだこれを見れば、
2:30:15	やっぱ上に書かないと。
2:30:17	はい。
2:30:18	その上でですよ、ちょっとわからないのが 18。
2:30:23	救急結局のところ、
2:30:27	19 ページの被害地震M出る。
2:30:32	だーず、
2:30:33	これは好き許可の時の、
2:30:37	16 ページのものから、
2:30:40	何か変わっ
2:30:41	たんですか。これで変わっちゃいけないわけじゃないんですけど。
2:30:45	変わったんです変わってないんですかっていうと、何か 18 ページですかね初版第 2 版における被害地震って書いてあるんですけど。
2:30:54	評価の有無っていう方を見ると、どうやら敷地、川内の場合は敷地から 200 キロメートル程度以内の被害地震っていうと、
2:31:03	第 2 班だけで、
2:31:06	評価があるのは、
2:31:08	1769 年 1899 年と一番下から南西。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:14	ちょっと、この三つが来パンと第 2 版で、
2:31:19	三つが新しく
2:31:21	出されて、
2:31:25	1760、
2:31:29	第 2 版のっていうと、
2:31:32	ちょっとその、これ三つ丸は三つ増えるんですかね、これちょっとそこら辺がよくわからんのですけど、16 ページのものから、
2:31:40	19 ページの上で出るただと 0 が三つ増えるだけが差分なんですか。
2:31:50	九州電力の野村です。おっしゃる通りで戸田初版から第 2 版に更新があって増えた地震は 3 人になります。
2:32:04	でもですよ。ただそれは、初版と第 2 版はそういうことですね。
2:32:10	ただ一番右の 18 ページの一番右の既許可評価っていうところには空欄がないわけですよ。
2:32:17	とすると、
2:32:20	16 ページは、当然清岡。
2:32:24	評価というもので、
2:32:28	トーマルの数わあ、16 から 19 で増えようがないのかな。
2:32:34	強化評価第 2 は、
2:32:38	ちょっとそこら辺が、
2:32:40	何か 18 ページを見ると、初版と第 2 版では差があります。だけど中間評価では第 2 版で拾ってるのこの、
2:32:47	1769 年の、
2:32:49	8 月 29 日とかですね。
2:32:51	これは、ちょっと規模は、7.8 っていうのと、7 と 3 なあ。三分の 4 ± 4 分の 1 とかちょっと違いますけど、
2:33:01	規模感はちょっと微妙にね、
2:33:04	違いますけど、
2:33:06	基本的に紀子評価で拾っ
2:33:09	で、
2:33:11	行って、
2:33:19	田丸の数は増えない。
2:33:21	ですかね。ただし、この丸の位置が微妙に、
2:33:27	扱ってる許可評価で扱っている地震規模と、
2:33:31	第 2 版で扱ってる地震規模が微妙に違うから、
2:33:36	19 ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:37	青丸と赤丸が微妙に違うっていう、そういうことでしょうか。
2:33:45	いや。九州電力の野々村です。おっしゃる通りで初版から第2版にかけて地震本部の方は3地震200キロメートル程度以内の被害地震になりますけど3地震増えてるんですけども、
2:33:58	もともと既許可評価で参照している被害地震のリストには、すでに版で増えた分も含まれています。
2:34:06	その上で僥倖評価時に参照してるカタログと、第2班が参照しているカタログ、例えば気象庁のカタログでも、
2:34:17	適時更新されてるものもありますので、その更新も含めても問題ないとか、大きく変わってないのを確認するといった意味合いで
2:34:28	衛藤第2班で用いられている地震すべてを、19ページでプロットして確認しているというところになっております。
2:34:38	なるほど。まだです。微妙に丸が打たれる場所が変わったと。
2:34:45	ですよ、ここの項目で確認して最後結論付けたいのは、
2:34:52	もともと、
2:34:55	あれ、どこまで市岡の評価のところに、具体の地震を挙げて書いてるんですけど、
2:35:02	一応16ページ許可のときにはこの1662年の日向オオクマの地震と、1909年の宮崎県西部の地震、これが
2:35:12	敷地の周辺の中では比較的被害の大きかった。
2:35:18	プレート内海洋プレートを菅の方ですけど、下プレート間海洋プレート内の中ではないんですけど、
2:35:24	というこの二つが比較的大きくてそれでも、震度5弱以上ではないので、
2:35:31	活断層の地震の方が影響が大きいですよ。
2:35:34	その評価文面自体も、
2:35:37	これは変わらないっていうか引き続き
2:35:40	1660、
2:35:44	2年とあと1909年っていうのが、
2:35:48	引き続き、
2:35:50	大きくって、それでも変わらないっていうのは、
2:35:53	ウワー。
2:35:55	最後そ、そこを、
2:35:57	何とか言い切れればいだけな気もするんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:02	いやその細かいところがねちょっと変わったとかそんなものは常々ある話なんですけど、敷地の
2:36:08	最終的には多分震度 5 弱以上っていうふうにもしなれば、これは詳細な検討に回さなきゃいけないし、
2:36:15	じゃあ、そのの、
2:36:17	比較の候補になる自身が何か変わったりすると細かい、そこまででね、申請しのところに、承認なんか書き直す必要があるのかっていうところはまた置いといて、
2:36:28	この 1662 年、1909 年っていうところは、比較的大きくてそれでも進藤親超えないっていうのは、
2:36:36	そこをひっくるめて、
2:36:37	引き続きいえるっちゃうことなんですかね。
2:36:43	九州電力の能田です。衛藤。今のところですけども結論としてはおっしゃる通りプレート間地震と、海洋プレート内地震が強化評価と同様に影響がないことを確認というふうになってるんですけども、
2:36:57	確かに起業者評価の記載ぶりを見ると、確認してるのはその 1000、662 年の地震と 1909 年の地震を確認して、それをもって影響がないというふうに確認しておりますので、
2:37:11	ちょっと記載のほうは見直したいと思います。
2:37:15	はい。とりあえずこの説明までわかり
2:37:19	そうすると、以降の地震動については、さっき限界であったのは、検討用地震だ何とかだっというところの、当然その影響確認も何もなくて、
2:37:30	ここで話は終わると。
2:37:32	今度その Ss-A、長周期地震動ですかね。
2:37:37	機の方なんですけど、
2:37:39	ここがね。
2:37:40	ちょっと待ってくださいね。
2:37:42	20 ページ 21 ページが、
2:37:48	第 2 版で想定してるものよりも大きなものをということなんですけど、
2:37:55	ただね、最終的な結論として影響なさそうだったというのはナゴは、それは見ればわかるんですけど、
2:38:02	これ多分何も知らないままな、SsL への影響を一応、
2:38:09	確認しているわけですよ。
2:38:11	多分 SsL を作る途中の仮過程で、何だか Ss1 と、
2:38:18	南海トラフの M9 とか何か二川日奈久だとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:22	なんかいろんなものを比較してますよね。その上で最後長周期がSs1をはみ出るような形で、Ss-N作ってますっていう、
2:38:31	ものをずっとこう記憶、その流れをですね、
2:38:35	覚えて記憶している人がいると、その途中のここの部分の比較のことをしてるんだなっていって、このSs1との比較を見てくださいけど、
2:38:44	多分何もその当時ですねものを、あれ思い出しながらこうやっているとあれなんでここでSs1を下回ってることを確認して、SsLとの影響の確認を語ってるんだらうって、こうわからなくなるわけですよ。
2:38:59	なんで、もちろん詳細全部書いていただくようないですよこれSsLどういうふうにしたかって、当時の資料を使い始めたら、
2:39:07	多分、
2:39:08	それでも、10 ページ 20 ページぐらい。
2:39:11	多分説明してたと思うので、
2:39:13	これ。
2:39:14	ここもですね。
2:39:16	地震動評価、プレート間地震の地震の評価。
2:39:19	ですので、当時こういう流れでSsLを作っていて、そのどの部分に対して今回一応影響の比較をして影響はないの確認してるのかっていうぐらいは、
2:39:31	最低限わかるようにしてもらいたいですよね。
2:39:39	これは
2:39:40	基本的にどうい、
2:39:42	どういうものとどうやってSsLを作りました。
2:39:46	で、なので今回、
2:39:48	この
2:39:49	SsLと比較ではなくて、
2:39:52	Ss1 との比較で
2:39:56	影響がないの確認するんですよっていう。
2:40:03	九州電力の野々村です。ちょっと今のご指摘の点ですけども、
2:40:10	一応 7 ページにSs1 を下回ること確認とさらっと書いてあるんですけどもちょっとこれじゃわからないということだと思いますので、衛藤許可のときに、SsLを策定した経緯、
2:40:24	等何でSs1 と比べればすいいんだということがわかるようにちょっと資料の方を見直したいと思います。
2:40:33	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:34	そうですね。多分許可のときにもうSsLを検討するにあたって多分まずSs1と、
2:40:41	長大な活断層なんでこれは日奈久笠山断層群、琉球海溝北部、M9Mw9.1、なんか南海トラフMw9.0とかって、
2:40:52	何か一応それとSs1を比較して、
2:40:55	訂正率1の方が上回ってるんだけどもみみたいな検討当時やられてたわけです。
2:41:01	うん。
2:41:01	であれば
2:41:04	まず、
2:41:05	そういう全体の流れの中で、ここだからここ、今言ったところで琉球海溝北部から中部Mw9.1って多分当時比較してて、
2:41:14	それとSs1を比較したんですかね、それ間、Ss-Nの検討の間の部分だと思うので、
2:41:20	はい。ちょっとそこが見えるような形にして、だから今回SsLをSs1を引き合いに、
2:41:28	変わらないんですよという確認をしてますっていう、もう、言ってあげればいいんじゃないかと
2:41:35	はい。
2:41:36	あとは何だろう。根井。
2:41:48	iPhone
2:41:50	っていうところで地震動は、
2:41:59	はい、地震動としてます。
2:42:02	今度、津波か。
2:42:04	津波が、
2:42:11	かい津波評価ではとって、固着域
2:42:19	着域
2:42:22	で、まずはそこ、南海トラフから琉球海溝沿いの地震の分析、既往の、
2:42:31	知見の分析と、
2:42:33	あとは水位評価というのがあって、
2:42:37	まずは、
2:42:40	固着域に関する分析、初版を参照してたんで、
2:42:47	そこから更新が、
2:42:49	ありますかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:58	その部分は特に変更、その第2版が出たけど、ここは記載としても、そもそも記載としても変わらないと。
2:43:10	次が、
2:43:13	26ページか、そうすると今度津波。
2:43:16	評価に行って、
2:43:21	これはプレート面形状の設定どころか、もう波源のモデルとして、
2:43:28	どう影響するかで、
2:43:33	これはまず場所としては変わりません26ページ。はい。
2:43:39	27ページで今回だから地震規模のところで何か変わりますかと。
2:43:46	いうと、
2:43:49	ブルー大井点がない地震規模として、
2:43:57	許可評価では、
2:44:18	これは、
2:44:22	向かい合って二段階やってまず自社が最後どういう。
2:44:26	規模で設定したか置いといてまずなんか内閣府2012と今回の大南で、
2:44:32	比較したところ相違点がありませんと、表評価対象の領域です。規模は、
2:44:38	もっと大きな規模で設定しておりましたと。
2:44:44	はい。
2:44:47	で、
2:44:48	南海トラフはそうすって琉球海溝も、
2:44:55	大日本。
2:44:57	これも規模大きいものを設定しました28。
2:45:03	第2版では大半を決まり、
2:45:07	これももともと台湾東岸まで設定して評価済みはい。
2:45:13	3号、
2:45:15	琉球海溝、
2:45:27	これもちょっとこのPartdんなんか何を言ってるかはわかるんですけど、
2:45:34	これわあ、
2:45:36	もう少し強くこのプレート、
2:45:39	プレート間地震の津波評価ですかね。
2:45:42	というのはこういう流れでやっていてここに新しい情報がありそうなんです、比較しましたっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:49	もうちょっと評価の評価の流れは詳しくこの程度で8ページに書いてしまうと、このページが長くなるのかもしれないんですけど、津波評価に入った冒頭のところで、
2:46:02	もう少し詳しく、そのAのところはいいのかもしれないんですけど、Bですかね。
2:46:08	どっちだ、B、
2:46:10	B、A、でも、これ米とBもちょっと違うのかな。
2:46:14	プレート面の形状の設定。
2:46:17	これも何か跨っているのか、8ページだと、南海トラフ琉球海溝の分析っていうものと、
2:46:24	あとは、津波、
2:46:27	水位評価のところの一部分がなぜ過去Aという区分になって、
2:46:32	さらに地震規模とかを滑りの設定のところはBと、このナカAとBの分け方ってこれ何か、どういう。
2:46:40	別ですかね。
2:46:41	何かこう二つの分析って書きつつ、そこに跨ってこの括弧Aっていうのと、
2:46:47	括弧Bっていうの何かつけてますけど、この(エ)とこの括弧Bってどういう趣旨ですか。
2:46:52	はい。九州電力の徳永です。括弧Aにつきましては、初版を見たところはどこかというのを、整理をしましてそういう、それが南海トラフから琉球海溝の分析それと水位評価。
2:47:08	両方に跨ってございましたのでそれを委員を引っ張ってきていると。
2:47:13	あとは、今回所管から2班で大きく評価対象領域が変わったということと地震規模が再編されたと。それに、
2:47:23	影響し得るところとして、性評価の地震規模であったり、滑り域の設定こういったところに影響が出るかもしれないということで、それを全体的に確認するという意味でBを設定してございます。
2:47:36	でさ、先ほど鈴木さんのご指摘等も、ちょっと考えながら私もちょっと考えてたんですけども、
2:47:42	1ポツと概要と2ポツの影響確認の方針の間に、既許可でそれぞれ地震動として大まかこういうことをやっていたんだ。
2:47:52	津波もこういう評価をやっていたんだと、大体、概ねこういうところが当たるんだらうっていうのを少し目算が立てるような概要版を指した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:02	2 ポツに流していくような資料構成の方がちょっといいのかなというふう にちょっと改めて再考していたところでございます。以上でございます。
2:48:13	すみませんありがとうございます。というのとともにですね、
2:48:18	その後ろの資料、8 ページまでとあとその初版からの整理っていうのが あって影響確認やってきますっていうところの資料のつくりとして、
2:48:28	どっちを、
2:48:31	今だと、公表可能評価フローに沿って、例えば地震動であれば、被害地 震との関係で、クラタSsLとか、さっき玄海の方も、活断層評価検討用 地震の選定とかってこう、
2:48:43	よくあの評価に従って、そのこの部分についての影響額、この部分に ついての影響額はこれで終わりですっていう流れで資料を見ていけば いいのか。
2:48:53	許可で使ってるかどうかという視点で見ればいいのかで、何かこ う津波の方とかのたまたま地震動は、この(エ)括弧Bっていう部分が、
2:49:04	ちょうどその地震動被害評価の確認フローの被害地震の話とSsLに分 かれてたんで、何かそのまま違和感なく読んでしまったんですけど、
2:49:14	津波の方は、
2:49:15	何かこう、津波評価の流れの、何か跨ぐような形で、
2:49:22	第 1 版を参照してたか否かというのは、何か、
2:49:25	入り乱れてますよね。そうすると 24 ページから見てた時に、
2:49:30	これはどっちで、どっちの
2:49:33	評価のヒラノ評価の流れっていう視点で読んでいけばいいのか、許可 のときに使ってたか使ってないかっていう視点で読んでいけばいいの かが、
2:49:41	わからなくなってしまうので、
2:49:43	基本これ、先ほどの玄海と同じく、地震動評価津波評価の流れに沿って 説明をされていて、その時に、これは許可で使ってたんで、そこが変わりま したが、これ許可の時には使ってないんだけど、
2:49:57	何か参照すべき知見がないかを確認しましたかっていう
2:50:03	そのとき、何か説明資料の構成というのも、その項目を確認するときに どういう目で見れば確認してあげますかっていうその切り口の問題ですよ ね。
2:50:12	ちょっとそれね迷子にならないようにだけ、
2:50:15	していただければいいかと思えますけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:18	こちらは、特にその規模感として、M8 だっていやM9 見てますからって いうのは、
2:50:24	これ重々承知はしているので、
2:50:27	ちょっとそこの辺だけですね、一応評価のところのどの部分を見て、この 段階でこういうことがいえるんだっていうのはわかるように、ことで、
2:50:37	資料のつくりですけどね。
2:50:41	ぐらいかなと思います。最後の、
2:50:45	結論が一、地震動評価。
2:50:53	踏まえても、
2:50:55	これは選ばれないで長周期についても、
2:51:01	長周期の地震動評価評価では内閣府 2012 に基づき、
2:51:06	第 2 版程度上回る地震規模評価。
2:51:12	ない。
2:51:14	内閣府 2012 に基づきこれか。
2:51:22	ね、これも今回、
2:51:27	ない、地震動のハザード評価はこれ前回も見ましたが、もうその特定 震源の、
2:51:34	ところでも、そもそもプレート内、海洋プレートの間海洋プレート内 は、そもそもとして、
2:51:41	ハザード評価上の対象にはなってないのでほら影響ないです。
2:51:46	津波のところワー土木学会を参照しており諸般の知見は引用していな いっていうなんかその一言になってるんですけどいや、
2:51:57	これは確かにですよそういう
2:52:00	端的な記載をしているサイトもあるんですけどね。
2:52:04	ちょっとここはもう少し、
2:52:07	対応したく、
2:52:10	当然、津波ハザード評価の方は地震動と違って、当然、そもそもプレ ート間地震を
2:52:17	3、
2:52:19	津波高化して基準津波決めていってるわけですよ。
2:52:23	もともとは土木学会の 2011 を参照してたのはそれはそれで、諸般の知 見は直接引用してなかったってのはそうなんですけど、今回先ほどの比 嘉医師もそうなんですけどね。
2:52:35	これ一、今回の第 2 版が出たことによって、何かそのハザード評価のと ころで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:44	やはり何か、なんていうか確率だったり規模だったり、何か置き換わるようなものって、
2:52:48	そもそもあるのかないのかっていうのが、すいませんこの一文だけを見てもよくわからないんですけど。
2:52:57	いや初版の違いを利用してませんでした。いやだからどんな第2版でどんな新しいことがわかってハザード表が変わりませんっていうのとは、何かちょっと話が飛躍しているようにも
2:53:06	ですけど。
2:53:08	ここは具体的に何かハザード評価で、
2:53:11	さっきだと限界の方だと少し活動度、いやそれは我が社の方が長期評価よりも、活動度として大きく見ていたんでだから影響ありませんとか、
2:53:22	そういうようなもので、何かこう、
2:53:26	主なんで規模なんですかね、地震規模としても、ハザード評価上でもっと大きなものを見てみてたんでだから影響ありませんっていうことなのか、ちょっとそこら辺を少し教えてもらっていいですか。
2:53:38	はい。九州電力の徳永です。
2:53:41	今回、まず地震本部の第2班で、確率という、三次今後30年間の間の間、発生確率等出されているんですけども、
2:53:54	そのやり方というのは、初版に初版に、平成16年にあった初版で、その大元となる出し方については地震本部の2001の手法でございますそれは今回も第2版でも同じで、
2:54:09	領域の内で発生した地震規模別の回数を数えて、それをポアソン仮定に合せて、発生頻度を出すというようなやり方をしております。
2:54:21	片や、当社の方につきましては当時その初版の1件もあつたんですけども我々としては土木学会の手法に基づいて、
2:54:31	決定の評価で用いたばらつき等を考慮して設定をしております。
2:54:39	大規模なところにつきましてはまた、今ちょっと資料もご提出しないまま、空中戦で話すも恐縮なんですけど歴史歴史地震を超えない規模の地震と歴史ジーヴォ地震を超える規模の地震というものを、
2:54:53	想定しましてそれを発生頻度という形で、GR式に基づいて設定したり、滑り量と年間ひずみ量から求めるとそういったやり方をしまして、
2:55:03	もともと先ほど冒頭ありました発生日領域の中で、ポアソン過程で
2:55:09	やるというやり方を、もともと信用していないということで、その部分をこの端的なちょっと短い文章で書いているということでございますのでそこはもう少し丁寧に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:21	わかるように記載をしたいと思います。以上でございます。
2:55:28	はい、わかりました。なので、当時の許可でのハザード評価のやり方、それがこういうやり方なんで今回、ここで新しくわかったことを書かれたことっていうのは、
2:55:41	影響しませんよっていうのは、ちょっとそこでさすがに当時のその分岐ツリー、ロジックツリーなんかをちょっと少し出しながらなのかもしれないですけど、
2:55:50	はい。どうなった。
2:55:53	そう、琉球海溝北部発生期、琉球海溝北部、
2:55:58	及び、
2:55:59	中部
2:56:00	検討対象の地震があって、
2:56:04	何か規模の想定があってとかって、
2:56:07	しか、
2:56:14	はい。
2:56:15	あとそこら辺はさすがに、
2:56:19	あと、当時第1版を参照してなかったからっていうのは、さすがにちょっとその一言だけっていうのは、地震動の方はね、そもそも検討対象に入りませんってわかりましたってことだし、さっきの玄海の方も、
2:56:30	ハザード評価としては、活動度という意味で、更新されるものがないと一言で訂正のぱっとわかりますけど、
2:56:38	ここも少し間が足りないかな。参考でいいと思いますけどね。はい。
2:56:46	はい。
2:56:49	そういうことと、はい。
2:56:51	です。
2:56:53	どうしますかね。
2:56:54	その上で、
2:56:57	なのでこちらも清梶の評価っていうのをもう少しかみ砕いて書いてもらってそれのどの部分との対比で比較しているのかっていうのをもう少しわかりやすくしてくださいというのが、
2:57:09	総論的な話。
2:57:12	はい。
2:57:13	あとは、ちょっとすみません、時間も大分押してしまっただけなんですけど、
2:57:18	あと最後の参考ですよこれ、産総研の野間。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:23	沖の三崎沖。
2:57:26	これは 30%これももとのやつですね。
2:57:30	もともと、
2:57:32	使ってるデータ 2、
2:57:34	差があってそういう注意書きもありますよう、
2:57:38	それでどういうふうな差が出てますよっていうのがあって、ちょっとこれ、
2:57:43	産総研 2002、
2:57:46	ツジ範囲、これベースと、
2:57:49	なってるのは、既許可の敷地周辺の主な断層分布、
2:57:54	次、産総研 2022 をトレース、
2:57:57	ということは、これ判例の、青は今回出したもので、もともとのものは、
2:58:06	赤、
2:58:11	赤と黒か。
2:58:12	もともと、
2:58:14	図に書いてあったものに、青いものを出しましたと。
2:58:17	いうことだとは思いますが、
2:58:21	ごめんなさい、ちょっとこれ一応許可も受ける活断層と伏在断層って多分これどこかの途中の段階の多分図面なので一応活断層と伏在断層っていうものが、
2:58:34	二つ書いてあって、
2:58:36	搬送系のこれ、
2:58:39	ごめんなさいこれはね産総研 2022 における断層っていうものと、清川の活断層っていうもの等を比較してみてください。
2:58:47	ればいいのか、許可における活断層と伏在断層を合わせたもので、
2:58:54	何か違いを見てあげればいいのか。
2:58:57	ちょっとどれとどれを比較してこの図の中で見ればいいんですかっていうのがちょっとわからないんですけどそこはまず教えてもらっていいです
2:59:05	はい。九州電力の徳永です。
2:59:08	今回産総研の図示している部分につきましては、
2:59:15	明らかに後期更新世以降に活動性があるのは、赤色、すみません
2:59:21	何、34 ページでいいのかな。
2:59:25	のところに記載をして、これもちょっと見づらくて申し訳ないんですけども、
2:59:31	明らかに後期更新世に活動度があるものは、赤の断層で引いてましてそれ、それを完全に確認できない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:42	ものにつきましては藤黒野断層で確か引いてあったと思いますんで、
2:59:47	今回、36 ページに記載しているこの青色の産総研の断層は、赤色の断層、すいませんこの赤っていうのは表現が悪いんですけど、産総研城野。
2:59:57	後期更新世以降にあった断層っていうのは一切記載がございませんで、それ以外の断層と要は、
3:00:05	断層と言われるものを記載しているということでございます。なので、結論から申しますと赤と青黒を足したものの、強化評価ですね、と比べてみるというのでいいのではないかというふうに考えてございます。以上でございます。
3:00:25	はいそうすると、36 ページ産総研 2020 における断層と一口には言ってるものの、
3:00:32	それは 34 ページだとなんか二つ種類ぐらいあるってことなんですかこれも、
3:00:39	どれだ。
3:00:41	ごめんなさいね。
3:00:43	こっちの赤と黒もあるわけですね。
3:01:15	そういうこと。
3:01:41	待つ。
3:01:43	規制庁の松江です。
3:01:45	要は 34 ページの
3:01:48	産総研の地質、アノ会、
3:01:52	か。
3:01:54	南野海域のこういうブルー水色はこれ構成にするかですね。
3:01:59	それの中に変位があるやつを、
3:02:02	産総研は赤で引いて活断層と言っていると。
3:02:05	で、
3:02:06	甌島の辺のやつは、産総研の地質で、
3:02:10	ていうか音波探査では、
3:02:13	更新制を、
3:02:14	がないと、岩盤ぐしかないよと。だから、
3:02:18	断層はあるけれども、活断層という評価をしてないよっちゃうのがこの図面の黒い数字ですよ。
3:02:24	それで、
3:02:25	35 ページの真ん中の(2)。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:28	産総研の文化
3:02:31	説明書の中に、
3:02:34	うちではわからなかったけども9電さんは、もっと新しい活動を活動。
3:02:41	確認して赤い線を評価をしてるよと書いてるわけですよねそれを、
3:02:46	合わせ技で36ページで、御社が説明しようとしてんだけど何も書いてないから、理解ができてないんですよ。
3:02:54	その辺もちゃんと気
3:02:56	今私が説明したことのようなことをきちんと書いていけば、
3:03:00	これを見た人が理解できるんで、本社が
3:03:03	主張したいことも、
3:03:05	伝わるわけですよ。
3:03:06	その辺もう少し、ちょっと自分たちがわかってるから、
3:03:11	つってさっきも
3:03:13	ペタペタ図面張るだけじゃ何が言いたいかわからないよっちゃうのと同じで、これも、
3:03:19	材料としてはちゃんとそろってわかる人が見ればわかるんだけど、
3:03:24	説明がちょっと足りない。
3:03:26	そういう点を少し工夫していただければと思います
3:03:31	はい。九州電力の徳永です。今松江さんがただ、
3:03:35	コメントいただいた通りでございます。申し訳ございません。我々がきちんと主張したいと、ことをきちんと文言文字に変えて、表現をしたいと思いますが今、冒頭ありました通り
3:03:49	産総研につきましては
3:03:51	南側の南東側の方に一部活断層に、後期更新世の活動が見える断層を見てるだけでそれが黒い、
3:04:03	活動度がある活動、後期更新世に活動がある断層等は認めてないと、それは結局は、
3:04:10	データがすごく網判読ができなかったというようなことだと思いますので、一方、うちの方につきましてはある程度しっかりとしたデータがあるということも、
3:04:19	踏まえましてクライテリアの違いというのも少し見えるような形で、表現をさせていただきたいと思っております。以上でございます。
3:04:29	はい。よろしく申し上げます。
3:04:30	はい。
3:04:33	なあ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:39	谷です。
3:04:40	これあれですよね既許可評価の伏在断層って伏在断層って言ってるけど、
3:04:46	要するに後期更新世動いてる断層じゃないっていう意味で言ってるんですよ。
3:04:52	なんかね多分これ裸で使うと伏在断層だから、活断層ではないっていう意味は、そのままとならないような気がしてて、
3:05:05	わかります。
3:05:07	伏在断層って、イコール後期更新世以降の活動がないって、
3:05:13	イコールなんですかねっていうのはちょっと、ちょっと僕、
3:05:16	よくわからなかったのので聞いてるんですけども。
3:05:20	九州電力の徳永です。伏在断層として当社が認定してますのは後期更新世に変位変形がないものを、ただし、はい、というもので表現をさせていただきます。
3:05:36	うん。
3:05:38	はい。
3:05:44	を、
3:05:44	ちなみに何でちょっとこの 36 ページのベースとなっている。
3:05:49	既許可評価の敷地周辺の主な断層分布っていうのは、これは、
3:05:54	いつの会合のいつの図に、この青を足したかっていうのはわかるよ。
3:05:59	おいてください。その上で、
3:06:02	だから敷地周辺の活断層評価としては、
3:06:06	最後だから赤瀬なのかな。
3:06:09	赤瀬なんですよ。
3:06:10	アガワ性なんだけど、それとその酸素系の青と比べられても、それは困りますよっていうと、
3:06:18	麻生層、黒と青がほぼほぼ対比されるような話なのかな。
3:06:23	御社はちゃんと黒だけじゃなくて赤々みたいなものをしっかりと、
3:06:28	認定してますってそういうことなのか。
3:06:30	はい。多分そのあたりが多分間を、
3:06:33	さっき松江の方からも言ったように、埋めていくと。
3:06:36	何を見てあげればいいのかっていうのはわかると思いますんで、はいはい。
3:06:46	これはこれで、ちょっと参考ですけど。はい。
3:06:50	すいませんちょっとなので、こちらの長期評価の方も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:57	結論、
3:06:58	これはもう明らかに
3:07:00	M8 とM9 っていうところははっきりとはしてはいるんですけど、とは言え ということで、こちらもちよっと資料の方修正をお願いしますと。
3:07:09	すいませんこちらの方も、特に他の方、よろしいでしょうか。いかがでし ょう。
3:07:23	よろしいですかね。はい。
3:07:25	星。
3:07:57	はい。
3:08:26	今米谷ですね、あれ、産総研の方はね、
3:08:30	これの
3:08:31	伏在断層今で言うところの給電でいうところの伏在断層しか、
3:08:35	見つけられてませんでしたっていう、そういうものなのか、部分的には、
3:08:41	切れたってこと。
3:09:02	ポジティブに活断層認定しているのか、ネガティブ認定してるのかって いうところですね。
3:09:09	うん。
3:09:09	はい。
3:09:12	はい。
3:09:14	さて等すいません
3:09:17	でですねちよっとこの後のスケジュールの説明のところ、
3:09:22	今後の予定は、確認はしたいと思いますけどちよっと最後に、これも端 端的で結構です。一応審査対応スケジュールと、
3:09:30	いうことでできていても1 ページとか結構ですから、これ、
3:09:36	説明は星印の通り、資格参画事例集の通りということなんで特にちよっ と説明ははしりますね。
3:09:44	何かあります今ちよっと資料パツと。
3:09:47	ながらですけど、これは一応、
3:09:50	それぞれの項目のヒアリング審査会合、
3:09:55	ものと、あとは一番下に取りまとめ資料とか参考資料とか、
3:10:00	あとは補正は、の時期みたいなやつは介護に、
3:10:06	もともと会合でも聞いたの。
3:10:08	聞いてはいますけど、
3:10:09	その時期みたいなものがですね書いてあるんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:13	あんまり、どうしますかね。何か説明があるのであれば、何か聞きますし、
3:10:20	特にもうこの図の通りですということであれば確認に入りますけど、
3:10:24	よろしいですか。
3:10:26	九州電力の野々村です。一応さっきおっしゃっていただきましたけど取りまとめ資料及び参考資料というところで、この部分につきましては、参考資料のところは補正のイメージのような、
3:10:38	ところで、8月の末末じゃないですね初旬の末ごろに、
3:10:47	地震動の取りまとめ資料と参考資料、
3:10:50	地下構造モデルと茂木は、のまとめ、を提出させていただくのを考えておりました、あと、すいません限界話なんですけれども、あと、久我通の初旬、中旬の初めぐらいに、
3:11:06	地震の追加分と書いてあるんですが、これがハイブリッドのイメージ。
3:11:11	で、参考資料として基礎地盤を考えてます。
3:11:15	4ページの方も同じような意味でして、8月の末に、地震、それから10月の頭に基礎地盤の数、補正のイメージの方を提出させていただければと考えております。
3:11:29	はい、わかりました。
3:11:31	ちょっとどうしてまあちょっと、私としても思うところありつつはい、調整が手挙げられてるんで、どうぞ。
3:11:47	今日のヒアリングの状況とかも含めて、
3:11:50	これちょっと気になってるんですけど、一言で言うと、
3:11:54	私たち、
3:11:57	審査官を、
3:12:00	コンサルのように使わないでください。
3:12:05	何かヒアリングものすごく三角さん三つ挙げてやったり、
3:12:08	ヒアリングでこれ事実確認してる内容で、こちらが聞いている内容、
3:12:13	からすると、
3:12:14	何かコンサルしてるみたいな感じがするんですよ。
3:12:19	資料をもっと、
3:12:21	ちゃんと作ってもらえませんかね。
3:12:23	読んでわかるような資料。
3:12:26	読んでもわかりません。資料。
3:12:29	これ何言ってるんだらう。
3:12:32	想像しないとわからない資料になってます

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:35	これを何回か繰り返しても、ちょっとよくなるだけで会合にかけても、
3:12:40	宿題が出るだけのような気がします。
3:12:43	一步間違えると限界の評価のように津波の評価とかひっくり返るものもあるかもしれません。
3:12:50	そんな状況でこの説明をされると。
3:12:54	結構危ないですね。
3:12:56	審議が
3:12:59	そういう意味で、もっと危機感を持ってやっていただければと思います
3:13:06	私からは以上です。
3:13:16	はい。九州電力の明石でございます。今ご指摘いたしいただきましたところ、私も先ほどのすみませんヒアリングのやりとりを、
3:13:25	隣で受けながら、
3:13:29	シームしまったなという言い方悪いですけども余りにもやっぱりちょっと資料がわかりにくかったなというふうな反省をしております。できるだけ簡潔にということを中心に心がけてやったつもりが、
3:13:41	書いてあるのは他椎野のチェックとして甘くなったところかなと思っておりますししっかりもう読んで理解できる。もう余計な説明がなくても理解できるように改めて、
3:13:52	まとめ直させていただきます。申し訳ございませんでした。
3:14:02	はい。
3:14:03	特に私もその限界の方で言えば、長期評価という第1、
3:14:09	ことを、
3:14:10	田井ですかね。
3:14:11	或いはまさしく地震動評価ではかなりもう検討地震選ばれない範囲のものではあるんですけど、津波評価上だとあのあたりが基準津波の序章が決めてるわけですね。その波源に関連するところの長期評価として出ているわけですから、
3:14:25	当然そういうものは荷重きちんと重視をしてちゃんと確認をしてしかるべきだと思っているので、
3:14:32	その上で、ちょっと今日みたいな資料に、2回目で出てきてるのは大変残念。
3:14:37	なところもあって、すいません、あのやりとりを見て、多分そういう印象。
3:14:42	だったんだろうなと思いますけど。はい。その上でですね、2ページ目小限界のスケジュールとかもあってまず地震本部の影響確認というところでいや、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:53	今回ですねしっかりと
3:14:55	した、最後ロジックも、私佐口の方からも含めて確認しましたが、
3:15:02	ちょっとこれ単独ですねや今日の資料ほぼほぼ会合で議論してってのはとてもじゃないですけど、ちょっと
3:15:09	難しいだろうと。
3:15:10	中身として何か何か言いたそうだとこれで影響がないとイダそうだっていうのだけはわかるんですけど、当然それは公開の議論。
3:15:18	そういう何か憶測、推測で間がないまま議論では足り変えられませんかので公開するにはね、公開の場で議論という形にする。
3:15:27	とすると、これ別に、
3:15:31	地盤斜面、地盤斜面の方は基本的な流れっていうのはもう、何ていうか、ある程度カチッとしたものがあるので、もちろんその数字チェックはね必要ですけど、
3:15:41	だとすると、限界。
3:15:44	限界の地盤斜面ですかね。
3:15:46	これともうもう、合わせ 00、9 月の上旬どこか。
3:15:53	のタイミングでというような感じかなと。多分これ今資料を当然今から帳票が直されるわけで、もう 1 回多分話、
3:16:04	確認しないとですね、ならんわけなんで、
3:16:07	ということで今日のちょっとヒアリングの状況をして見るとそのようにこちらとしては、
3:16:13	感じております。
3:16:15	なんでどこかでまとめてっていうことですね。
3:16:18	ちょっとそれとの関係で、
3:16:23	なので玄海の基礎地盤と地震本部のところについてはそういう形で、これだから基礎地盤周辺斜面が 8 月の
3:16:32	中に出てきて、
3:16:34	ほんでですね。
3:16:35	ところもう資料が 8 月の、
3:16:39	これ 1010 日単位でさ、三つ一つに三つ枠があるんで、多分 20 日ぐらいに出てきて、
3:16:46	何かまた、1 日 2 日後ぐらいに、
3:16:49	いうかなりここもショート、
3:16:52	スパンなんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:55	ちょっと8月農今小星印が第1週なのかちょっとこれは多少ずれるかもしれないませんが、8月上旬ぐらい、9月フクマで9月上旬ぐらいに地盤斜面で、
3:17:06	そのタイミングとあわせて地震本部、ちょっと細かい日々ケア別として、長期評価そこで検討多分まとめたのを、ぐらいにしないと、
3:17:18	今の資料で8月中に会合っていうのは難しだろうと思ってますんで、
3:17:23	その上でちょっとこう取りまとめ参考資料のところも、これで参考資料がある程度、取りまとめ資料はいわゆるそのパワーポイントの資料で、参考資料のところは少しちゃんとその内容を、
3:17:35	何か補正申請でのその文言とか項目とか、そういうふうにはめて、当然ながらこの取りまとめ資料と言われるものの、
3:17:45	どこがここに来るんだっていうのはわかるような形で、作られているということなんですけど。
3:17:51	ちょっとこれもですね何て言うかのいわゆる、
3:17:56	もう中に出して、お盆が終わったらすぐヒアリングっていうのは、
3:18:01	ちょっとこれもまたなかなかタイトというか虫がいいスケジュールかなと。
3:18:06	で、
3:18:07	ここもですね、基本我々
3:18:11	並行して、玄海と仙台並行して皆見ながら、かなりか詰めた中でも、それはもちろんその見るべきものは見るんですけど、もう少しこの玄海と川内とかですね、重複してる部分、
3:18:23	特にここ9月ぐらいになると、
3:18:26	5000台の地盤斜面出てくるわけなので、さらに、
3:18:30	何か取りまとめ資料仙台の地震動の方の取りまとめ資料が同じぐらい出てきて、これもなんか1日、2日ぐらいで、すぐヒアリングのうち数日かな。
3:18:40	ぐらいでヒアリングっていうと、地盤斜面の日会合に向けてのヒアリングを何か優先したいのか、ちょっと私
3:18:47	どちらも大事なのはわかるんですけどね。
3:18:50	とこういう重なってる部分っていうのは、ちょっともう少し優先順位とか考えながら、
3:18:55	当然そちらとしても、別部隊とはいえですよ。
3:18:58	作るために作ってチェックして上に上げていった上で、全体を見る方を多分、重複するでしょうし、当然我々としてもそちらが別部隊だからといって、我々右側、同じ部隊なわけなんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:11	そこら辺はねもうちょっとその、
3:19:13	これはさすがに提出からヒアリングまでここは水、身近かろうとかそういうところはきちんともう少し考えていただきたいかなと。
3:19:20	これはあくまで、現状の希望ということなので、
3:19:25	差し迫った直近のところと言うと、
3:19:28	長期評価の方は少し会合としては、まず、玄海の地盤斜面とセットという話と、
3:19:34	あともう少し取りまとめ参考資料みたいなところは、
3:19:38	出てくる時期等を、当然地盤斜面の審査、審議と並行して見る形になるんで、
3:19:45	そういう意味であればもう少し確認期間とかですなそういうものは、
3:19:50	審議優先なのか補正の確認を井清して欲しいのかで、
3:19:53	もう少し期間的なところは考えてもらいたいかなと。
3:19:57	思ってます。
3:19:58	一応これ、何で参考資料ある程度ご専門を意識して項目も、どの部分を補正するのかっていうのを意識したものが、一応出てくるっていう説明なんで、まずはその前提で物は待ちますけどね。
3:20:12	はい。
3:20:14	阿南でちょっと今日のこの長期評価のヒアリングを踏まえての、
3:20:19	少し審査スケジュール、何か別に、即座アップデートっていうのは出しているけど、一応今のところ、
3:20:26	御社がどういうぐらいの作業を進められているかっていうところだけ、ちょっとこの8月ですね入った段階で一応確認したかったっていう次第なんで、
3:20:36	これはこれとして状況はわかりました。
3:20:39	他何かスケジュールでございますか。いいですか。
3:20:44	何でこの通りに何か進めていくという今現状の状態はわかったということで、
3:20:51	いいですかね。はい。
3:20:53	それでは、ではちょっと時間も超過しましたが、ヒアリングの方以上で終了したいと思いますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。